

古今鍛冶備考

銘寄

三

和書門		
一七四二六	號	類
一二九	函	
一	架	
七	冊	

內閣文庫		
一七四二六	號	類
七	冊	
一五四	函	
九	架	

內閣文庫		
番號	和	17426
冊數	7 (3)	
函號	154	132



古今鍛冶備考卷之二

備前國長船住一或

津田文庫

次 繼續綱恒經常貫鶴

次

次家 ○一人

藤島一と越前加賀所を造り文明比

備前福岡文字一汎

備前長船住一或

備前國一或

銘を青江一汎兼元中廿四人の内八月番を定むる始を有る後備中権久任す備前と修行と云

次俊 ○三人

備前福岡文字一汎

備前國一と長船一汎建武の比

備中青江一汎二字銘と

次利 ○一人

備中青江一汎二字銘と建曆比

次親

越前國藤原下坂

次兼 ○一人

備中青江一汎二字銘と

攝州住藤原一

次吉 ○七人

若州小濱住一と

桃川住一と

備前國

嘉元 ○備中青江一汎二字大銘

同代目二字銘と左

同三代目備中國一或

備中國一作或二

比 ○抄物多し寛元比

近將監と号建治比

二字銘と抄徳治の比

字銘と抄建武の比

より貞治四年比迄同

次依 ○二人

備中青江一汎二字銘と抄寛元比

次頼 ○二人

備前福岡文字一汎二字

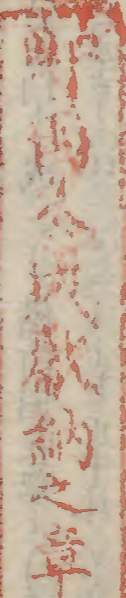
備中

人々四代目と云大業

字銘と抄寛元比

銘と抄文永比助休同と云

青江



古今鍛冶備考

卷之二

二

備前國

一 派 二字銘 次忠 ○二人 備中青江二派 字銘 杉建永比 次恒 ○二人 備州長船 一 備中国 一 杉青江 一 杉時代不明 一 派左近將監と号嘉曆の比

次直 ○二人 備中青江二派 一 派負和延文の間良業 次植 ○二人 備中青江一派 二字銘 杉正應と比良業

次信 ○二人 備前福岡一文字二派 二字銘 杉正嘉の比 次言 ○二人 備州長船 一 杉時代不明 次正 ○二人 備中国 一 作或ハ二字 銘 杉貞治比業物

次有 ○二人 和州當戸一派 二字銘 杉延文比有法師同云 越智 一 杉濃州住 一 云鑑鍛治く時代不明 次真 ○二人 備中青江一派 二字 銘 杉寛元比

希遠 ○同二代目二字銘 共 杉弘長比 次貞 ○二人 石州住 一 杉雲州 一 備中青江一派 應永比 波平 一 杉薩州谷

山二派文 次定 ○二人 備中青江二派 字銘 杉正和比 次清 ○二人 備州長船 一 杉時代不明 次光 ○二人 備州長船 一 二字 銘 杉永亨比

亀比 次廣 ○二人 相州住 一 杉明 一 若州小濱住 一 或ハ二字銘 杉 備中青江一派 享 銘 杉天福の比

石州住 一 杉弘 杉弘歩寛文比 次弘 ○二人 石州住太郎左工門 一 或ハ 二字銘 杉永亨の比 備前国長船 一 備州長船 一 杉 應永の比業物

備中青江一派 二 字銘 杉建治比 次久 ○二人 備州長船 一 奥州盛岡住 一 杉新藤国義 次秀 ○二人

備前大宮一派 二 字銘 杉曆應比 高田一派 文亀比 次助 ○二人 備中国 一 作 貞和延文の間

次商 ○二人 備前国住 一 杉時代不明

繼利 ○二人 越前国下坂 一 藤原 一 杉東武移住寸元禄比

繼富 ○二人 東武繼秀 一 二 字銘 杉章比 繼代 ○二人 奥州仙臺住 一 杉 杉国次男大友惣十

繼永 ○二人 越前国下坂 一 杉東武 一 杉造る長の杉も同ハ元禄比 繼信 ○二人 越前国住出羽大掾藤原 一 杉下坂又左工門と号 一

東武移住ハ 享保比業物 繼正 ○二人 越前国下坂藤原 一 杉三代目康継 一 六兵衛と号 繼政 ○二人 越前国下坂 一 杉 一 杉

保 繼負 ○二人 越前国下坂 一 杉肥後 一 杉東武移住寸天和比 繼清 ○二人 長州二王 一 杉王井

幸助と号清房 繼行 ○三人 越前下坂藤原 一 備前国長船住人 一 豊州高田住藤原 一 杉寛文の比 一 杉寛文の比

男也宝曆の比

古今録拾遺考 卷二

繼光 △二人

越前国下坂一
と抄延宝の比

繼廣 △一人

近江守藤原一
膳所も造る東武もまゝと云寛文元禄の同業物

繼平 △五人

近江守藤原一と抄越前下坂三代目康繼
藤田多兵衛と号東武住寸寛文比業物

東武神田三住と元禄享保の同業物

同三代目近江守藤原一と抄黄金鍛の副銘多
同々四郎と号宝曆比迄の作有東武住寸

同四代目東都近江守藤原一と抄同々四郎
と号黄金鍛の銘父の如く抄明和安永の作也

住一と抄薩州元平
柏原仲左衛門と号文化比

繼秀 △二人

井近江守藤原一と抄萬歳一と抄
同々継平門源次し号東武住寸と天明文化の間

續吉 ○一人

越州桃川一○桃川住一
抄越後永亨嘉吉の比

綱家 ○二人

相州住一或二字銘も抄初代
綱廣門平三郎と号小田原刀匠

一派亭禄天
文比業物

奥州仙臺住一○奥州田村郡
小野住一造と抄天文禄比

綱俊 △二人

越前国住一と抄
下坂一派寛文比

綱能 ○一人了戒一
と抄城州

天文比
綱吉 △一人

撰津国住一
と抄寛文比

綱慶 △一人

於肥前唐津源一と抄同州佐賀の産や
州廣嶋の城下中嶋移住と五兵衛と号も寛文の比

綱長 △二人

越前国下坂一
抄天和比と云

綱宗 ○二人

相州住一或二字銘又総宗とも抄
小田原刀匠綱家門師と兩作有天文比

作と抄種々の銘有と云伊達家の慰作よし
相植公安倫寛文比内一と抄れと云

綱房 △二人

奥州住一と抄會津住古川孫四郎兼定慶長
年中蒲生家の命よつ綱房と改

綱貞 △二人

常州一作
と抄時代不明

綱行 △一人

豊後住藤原一
と抄時代不明

綱光 ○一人

相州鎌倉一派二字銘も抄行光
門後立郎正宗門と成正和比

綱重 ○二人

上野住一と抄相州
綱廣門天正比業物

奥州住藤原一と抄相州綱廣津輕との
加賀守藤原一と抄元禄比在所不明

綱廣 ○二人

相州住一○相州住對馬守一と抄初元正廣と云○小田原の北条氏綱雀岡八幡宮奉納
の太刀と正廣は造り此時一字と授け綱廣は改を對馬守と受領寸造刀を為

褒美三百貫の地と賜りしと云山村氏
法名連向と号永正亨禄の間良業

同二代目相州住一と抄山村對馬

同三代目相州住一と抄同
宇右衛門と号此代に至る二

百貫の米地は定多と鎌倉扇ヶ谷お住居と奥州
津涇も造り有慶長の比法名玉祐

同四代目相州住一と抄同
同五代目相州住一造の津
勢大掾源一と抄十六松

の菊と切ふ物有万治年中
受領寸法名常録と号業物

同六代目相州住一と抄山村弥右
衛と号享保比法名宗親

同八代目同銘も抄
同字兵工と号水

心子正秀肥後の松村昌直
等の師寛延天明の間

同九代目相模國住一と抄同直三郎と号嫡孫
美祖東武末水心子正秀と成天明文化

城州住源一○近江守源一
抄元禄比勢州吉廣同と云

江州比良住阿波守 越前国住藤原一 南紀住傳左門尉 綱助 △人 榎戸一と打保則男也 水心子正秀門享和比

恒家 ○二八 備前国一と 備中正恒流二字 銘は打仁治比 恒利 ○二八 和州千手院一派元曆比 備前 兼任法師と号と云不審 長

恒遠 ○二八 城州洛北市原住二 字銘は打建曆比 恒能 ○二八 備州長船一と 打至徳比 恒次 ○七人 和州千手院一派 二字銘は打左

入道と号建治比 備前住左近將監一或六 備州長船一 備中青江派二字銘は打兼元西比 由光初銘と云 二字銘は打時代不明 打應永比 人の内五月番は定まらぬ備中守と云

ちる當番の時の作ハ 同二代目備中国一或六 同三代目備中国住一或二字銘は打 備中万 勝の字と打数珠丸の作ハ 二字銘は打貞永の比 弘長比貞永の恒次ハ初代同人と云 喜庄住

左兵衛尉一と打文保元徳 備中正恒流二字銘は 備中国一と打 恒氏 ○二八 備 比の年号打物多し大業 打弘安比長の字も打 青江派文保比 州

長船一と打貞 和延文の比 恒則 ○二八 備中国一と打 阿州海府派二 恒正 ○二八 備州長船一 打貞治比 字銘は打文安比 とも貞治比

備州長船一と 打明德比業物 恒真 ○三三 備州長船一と 打貞治比 備中正恒流二字銘は 備中片山派二 恒清 ○二八

備中正恒流二字銘は 恒光 ○二八 備州長船一或三 字銘は打正應比 恒久 ○二八 甲州住一と 備前国住一 備前と云 造貞永比 字銘は打正應比 打時代不明 打文曆比

恒弘 ○二八 備州長船一と打長義門 康永より應永の始まる良業 應永の末より文安は作ら 恒本 ○二八 遠州守 銘は打建

長比本國 備前と云 備州長船一派二 恒末 ○二八 遠州住一と 備中正恒流字 恒 ○二八 備中弘長比の 字銘は打兼久比 銘は打永亨比 銘は打貞永比 恒次同人と云

經家 ○二八 備前国住一と打 備州長船一と打弥次郎 同二代目備州長船一と 同三 畠田一派正應比 与号明德應永の間良業 打永亨文明の間良業 打目

備州長船一と打長 亨永正の間業物 經遠 ○二八 備州長船一と打應永比 經義 ○二八 鎌倉住一作或公字銘は打本國備前福岡一 文字一派相州移住一藤源次派と成弘安比

經能 ○二八 了戒一と打 城州大永比 備州長船一と打應安比 經光 ○二八 備州長船一と打延徳比 經孟 ○二八 大和国住一と 打時代不明

常遠 ○二八 城州栗田一派二字銘 備中則高流二字 銘は打元曆比 常依 ○二八 備中二字銘は打 正治比常遠門 常慶 △二八

藝州廣嶋住一或公字銘は 常次 ○二八 備中国住佐兵尉一或六 二字銘は打青江派兼元比 常永 △二八 兒玉一作と打東武 住寸水心子正秀門

古今段台備考

卷三

四

備前

傳助と号 寛政文化

常國 ○二人 二字銘は在所 時代不明

泉州住 一とち加賀四 郎一派文安の比業物

備州長船 一とち永和の比

常光 三人

對馬守橘 一〇對馬入道 一とち生國江州蒲生郡の令して城州移住 後東武漕 住寸日置市之丞後三郎左五門と号石堂一家小光平兄と云法名一法寛永寛文の

向良 同二代目對馬掾橘 一〇對馬守橘 一とち東武四谷 業 一〇居住と同左五門入道 一〇智休と云元禄比至る業物

常秀 ○一人 二字銘は天文 比泉州と云

常本林 ○二人

備中正恒流二 字銘は貞應比

貫光 ○一人 備州長船 一とち長亨比

貫 一人 野州烏山住心齋 一とち水 心子正秀門礎左五門と号文化

鶴

鶴重 △一人

尾州住 一とち傳十郎と号坂陽 一〇後本重と改じ延宝比

十 永長直尚成業仲中奈南

永

永家 ○一人

筑後国 一〇大石住 一〇天文の比業物

永富 ○一人 備州長船 一とち應永比

永命 ○一人 備州長船 一とち永亨比

永朝 △一人

二字銘は羽州山形彦秋元 家の慰造と云天明文化の間

永俊 △一人

奥州住 一とち長俊五代の孫田代弥四郎と号 始免重清とち三代目安倫門元禄の比業物

永包 ○一人

大和国 一とち手 搔一派文明比

備前福岡 二字 派字銘は文應比

永勝 △一人

藤原 一とち豊後日出住 高田茂兵と号元禄比

永吉 ○一人

備州 一〇

長船 一とち 撰津住 一とち 永正比業物 石道一派元禄比

永次 ○一人

備中国 一とち青江 一派正中比良業 阿州福嶋住 一とち時代不明

永恒 ○一人

備前 福岡

一文字一派二字 銘は文永比

永則 ○二人

備前国吉井住 一或二字銘は 一〇後雲州へ移住寸應永比

同代目二字銘は 雲州住と文明比 吉井の末と云元禄比

備州住 一とち備前

永延 ○一人

和州宇多郡住 一とち文和比と云

永國 ○一人

二字銘は永正比在 所不明延壽の如 一とち東武住国正門梅山勘左五門

永保 ○二人

城州三条猪熊 住 一〇字銘は

と号後羽州秋田 河内守源 一とち肥後隈本住寛文比有故離散 移住と元禄の比 平安城越前等假居寸後又本國隈本(帰邑)と云

永昌 ○二人

三位 一〇昌阿(昌) 作 〇昌と云と城州

文曆比国實 房州住 一と 同人と云 〇時代不明

永安 ○一人

山住 一と作と文龜 〇の年号有在所不明

永昌 ○二人

三位 一〇昌阿(昌) 作 〇昌と云と城州

綾小路住又万里小路 〇奥州住 一と 〇時代不明

永真 ○一人

備前国住 一とち 長船一派元弘比

永行 ○二人

藤原 一とち 豊後高田一派

永禄比 豊州高田住藤原 業物 一とち寛永比

永光 ○二人

大和国 一とち手院一派文保比

備前国長船住 一とち

撰州住 一とち

伊賀守と任と

と云寛 ○二人 攝州住藤原一と抄 永道 △二人 武藏守一と抄坂陽住土井六兵衛と号 始を永路と抄東武一と造寛文比 永重 ○二人 △二人 永道の初免かん銘

○備前福岡二文字派 攝津守一或二文字銘も抄奥州仙臺長俊三代目田代卯太郎 田代久右衛門一 二字銘も抄文應比 与号兼應中受領菊一文字蒙 勅許鈿本よ切之業物 与抄奥州仙臺

永俊門始免清俊と抄宝曆年間依主命攝津守永重の苗裔 を継ぎ永重と改免菊一文字と抄後永茂より再び改免より 奥州住一と抄久 右内永重後の銘

永久 ○二人 備中貞應比 二字銘も抄 永秀 ○二人 豊後国一と抄文安比 永弘 ○二人 △二人 和州住一或二文字 備州長船一 銘も抄嘉元の比 一と抄藝州

まて造 法城寺橋一と抄 永廣 △二人 攝州住一と抄寛 文比長廣とも抄 永守 ○二人 備前福岡二文字派 平一 二字銘も抄文永比 一と抄

豊後高田 永盛 ○四人 武藏国一と抄登 平一造と抄豊後 同代目平一と抄 同代目平一と抄 高田一派康正の比 文亀永正の比 兵工

一と抄筑前 天文の比 永末 ○二人 備前国長船一 一と抄正應の比 永助 ○二人 備前国住一 と抄宝徳比

長治 ○二人 信州住一造と抄文祿の比 長俊 ○二人 △二人 濃州小山岡一派二文字銘も抄物多越 奥州仙臺三文字銘も 中能登も造明德應永比良業 田代久右衛門号本國

長

濃州開清宣門慶 奥州會津住一と抄本國豫州松山長國勇あゝ會津移住一好政長門と成 長寛永の同業物 後長道の後見と爲一長道受領頃同居す後別家と本性中糸氏復は始を藏 後十左門と号延 備州長船一 豊前中津寛永 濃州小山岡一派二文字 室乙卯の年没業物 比二文字銘も抄 銘も抄長亨の比

長包 ○三人 △二人 濃州志津一派二 備前福岡二文字派 同代目二文字銘も抄或信 字銘も抄貞和比 二字銘も抄文應比 直同人とも云正應比 長勝 ○二人 △二人

濃州小山岡一派二文字銘も 草道嶋一と抄濃州赤坂岡派 豫州松山住一と抄三好長國末 抄尾州おと造文明比 坂倉氏也文亀大永の間良業 流享保比此末干今有と云未詳 長景 ○一人

備州長船一と抄長 京都住菅原一或二文字 平安城一と抄 同代目平安城一作 清門永亨比良業 銘も抄曆應貞治の間 應永長祿の間 平安城一と大銘

抄文明延 同代目平安城一と抄伊勢 大和国吉行子龍山本一 濃州志摩物派 桃川住一と 徳の間 三河をも造文亀永の間小銘 与抄奈良住建長比云々 二字銘も抄康正比 抄越後貞治

比甘呂俊 同代目桃川住一と抄 備州長船一と抄始免 備後国尾道住五 平安城一と抄美川奥 長門 應永比月山風肌物有 是言も貞治應安比 阿弥一と抄弘治比 住六兵衛と号寛文比 州

住一と抄本國豫州松山長國 同代目奥州會津住一と抄 播州姫路住藤原一と抄 同代目藤原一と抄 後會津移住と寛永比 始免長吉と抄貞亨元祿比 吉田治左門と号寛文比 多同忠兵と号貞亨子

古今録

卷三

五

龍峯録

享保 肥前國藤原一と打二代目吉の向 房男也嶋原えと造享保比

長善

○三人 奥州住一と打二代目長吉同人

長義

○三人 越後国住泰一○泰一或三字銘と打甘呂俊

長門文和 備州長船住一○備州長船一作と打相州正郎正宗貞治の向 ○藤原左門と号中應安の向の年号抄物多入業

同二代目備州長船一と打始免長清と打五郎左門と号永徳嘉慶の比

長長

△二人 從五位品藤原源一と打東武榊原氏の慰造也寛政比

長依

○一人 濃州小山岡一派一 字銘と打天文比業物

長次

○三人 備中青江一派一 二字銘と打弘

安 備中国住一作と打 佐伯住一と打加賀国一○賀州住 比 青江派應永比良業 丹波貞和比 藤原一と打寛文比 壽次男源之進と号天明比 与石堂

長綱

○二人 備州長船一と打 長義門康曆比

筑前金剛兵尉藤原一作と打豊後と造永正亨祿の向

撰州住藤原一○撰州住藤原一と打初代忠綱門北

一派天 和比 村市右門と号 豊州住藤原一と打 寛文比業物 豊則と時代不明

長恒

△三人 撰州住藤原一 羽州新庄住源一と打河内守康永

長直

○二人 備州長船一と打左 近将監と号貞和比

備中国一作と打 青江の末永正の比

長成

○一人 平一と打豊後高田一派文亀の比

長永

○二人

二字銘と打在所時代不明二王の如し

長長

○二人 長長作と打在所時代同上 不明長永同人乳

長宗

○二人 備州長船一と打将監 長光門建武比良業 東武小笠

原庄齋男同左在工と号延宝比 下野国皆河住 後武州金澤一閑居一鍛冶と号一と打享保比

長吉

△二人 小笠原在齋一作○昌齋入道と打東武下谷池の端住と左京と号元末武

家の浪人かよく好て刀劔と造る寛永の比業物

長氏

○二人 備州長船一と打貞治比

長信

○二人 越中宇津一派一 石州出羽住 字銘と打文正比

吉比 奥州會津住一 業物と打長道一貞亨比

長則

○二人 和州奈良住一 字銘と打正慶比

備前国福岡住人左在空尉一造或二字銘多一小龍長則と唱と将監長光と而作有

永仁 同二代目備前国吉井住一或三字銘と打弥左門と号 後雲州移住入道と道永と交保比是雲州道永の始祖 住左在空尉一○長船一と打貞治比

○同四代目雲州住一 二字銘と打在所 二字銘と打應永比 時代不明物有

長國

△三人 奥州會津住一○奥州住一と打○豫州松山住一と打も同人本國藝州廣嶋刀匠常慶と男三好藤四

郎始免宗左門安廣と云豫州松山移住一加藤家の臣と成文祿壬辰の年主君と從て朝鮮国渡 越後国村山住一 海一於彼地刀劔と造り大を行くと云寛永丁卯の年奥州會津俱と乳子孫地帝高辛未の年没業物と打元祿比と云

豊前中津住一と打寛文比業物

長安

○二人 備州長船一と打應安比

長昌

○二人 備州長船住一と打延文の比

長正

○一人 長州住一と打二王派亨祿の比

長房

○一人 備前福岡一文字一派○長房作と打物多一初多の吉方同人と云未詳

長真

○二人 赤坂住左門尉一或二字銘 備前福岡一文字一派二字銘

抄文 長清 ○二人 備前長船一と号五郎左門 豫州松山住一と号三好太郎兵衛と
應比 長行 ○二人 号後長義と改永徳比 号長国門寛帝和泉本稼国輝と改む

備後国尾道住五阿弥 ○豊州住藤原一と号中鍛冶 肥前国住一 豊後高田住藤原一
一と号長亨と盛物 号豊後高田派天正比 号豊永比 一と号寛文の比 長幸 △二人

多々良氏一 長幸於攝津国作之 長幸於攝津国大坂 裏以南蜜鉄作之と号 泉州堺住一 或二字銘も
本國紀州や一と号坂陽移住す河内守康永門郎基と号延善貞亨子の間最大業物 号石堂一派と云寛文比多

良と八 長久 △二人 對州住一と号壹岐 長光 ○十人 長谷部一と号城州元應比 平安城一と号判
別人 長久 △二人 一と号造る慶長比 新藤五国光一と号業物 太郎と号應永比

和州尻縣一派二字銘も抄 羽州月山一派二字銘も 雲州二字銘も 備前長船一派二字銘も 光忠男左
延慶比檀壇の長光唱 抄曆仁比奥州一と造 抄寛文比 備前長船一派二字銘も 光忠男左
衛門尉法名順慶と号建長比大業

回代目備前国長船住人一と造 備前国長船住人左近将監藤原一 備前国長船住人
左近一と造又作の字も抄或二字銘も有弘安嘉元の間大業父子共銚子の爛名人也 備前長船一と号
嘉慶應永の間

備後住一と号 波平一と号薩 長道 △五人 奥州會津住陸奥大塚三善一 陸奥大塚三善一と号政
三原派康應比 州谷山派應永比 長男三好藤四郎道長と云万治戊戌の年上京一と津田助

廣と同時に交領す此時三善長道と改む後東武 同代目奥州會津住一と号 同代目奥州會津住三善一と号
来り造るの有貞亨乙丑の年没最大業物 同庄右一と号貞亨辰の年没 同傳四郎後藤四郎と号元禄丁丑

の年没是より 奥州住三善一と号會津四代目政長男喜平治後藤四郎と号 同二代目奥州會津住一と号
家絶ゆ 寛政戊午の年七十五歳と云政長長道同家ある如此号は 三善権藏と号亨和文化

長重 ○二人 備前長船一と号長義 奥州會津住一と号長俊男中条作太郎後
△二人 永和比真房同今云非之 作兵千号延宝比と造る宝永庚寅の年没 長秀 ○二人

筑前住一と号 豊後国白杵住一と号高橋 長廣 ○三人 草道鳴一と号濃州志摩 長州住一と号
抄文安比と云 多平太と号肥後国目出と号和 物派赤坂侍太永比良業 抄左一派文明

比筑前長 豊州住一と号 近江守長曾祿一と号本國 長寛 △二人 紀伊国一と号近江守源一と号長
秀同今と云 高田派嘉吉比 江州と号坂陽住寛文比 廣男坂陽と号 元禄と号比

長久 △二人 出羽国一と号奥州 備前長船一 羽州新庄住一と号長恒男 筑後住源一と号筑前信國
△二人 号も造る寛元比 抄應安比 高橋市郎兵衛号寛保比 善政族久苗住次郎右一と号

正徳字保比 長守 ○二人 濃州志ノ物派字 備前国長船住左近将監一と号備前国 備前長船住一と号
無銘も一 銘も抄赤坂住永正比 長船住一と号将監長光一と号文保比 長綱一と号徳嘉慶の

同良 備中万壽庄物一派 平一と号豊州 長盛 ○二人 濃州志ノ物一派二字銘 同二代目赤坂住一と号
業 二字銘も抄正中比 高田派宝徳比 多一と号赤坂住文龜比業物 二字銘も抄文比業物

平一と号豊州高田 同二代目平一と造抄 長元 ○三人 備前福岡文字派 備前長船住一と号
一派嘉吉比知銘も抄 永正比銘大と号也 二字銘も抄寛元比 文字流と云嘉元の比

肥州住一とち肥前
散位一派文明比
長基 ○入 備州長船派字銘
よち順慶弘安比

佐伯住一とち
備州長船住一
丹波元應比
長助 ○入
備前福岡文字一派字銘よち
兼元中北四の内二月番よ定る
備州長船一とち

直家 △入
後紀州移住一と直茂と改享保比
直景 ○入
備中二字銘
よち建長比

門亨和 紀州和歌山住藤原一
文化
直吉 ○入
丹州宮田兵衛尉一とち
丹後宮津住天文の比
備前直宗流二字
銘よち正嘉嘉の比

直能 ○入
了戒一とち豊前豊
後西所よち造永正比
直忠 ○入
大和国一とち千
手院一派正中比

長州清原一森長門清
直尹 △入
田中一とち肥後隈本
士昌直門寛政亨和

水心了正秀門庄司
箕兵衛と号文化
直次 ○入
備中国左兵衛尉一或二字銘よち
青江一派文保康永の間大業
直胤 △入
大慶一造よち羽州
山形の産く東武住守

丹後直道と改播州移住と享保比
直綱 ○入
石州出羽住一或二字銘よち
同入五郎正宗門久右衛門と号河内よち

造る建
武比
同二代目出羽住一或二
字銘よち貞治比良業
同三代目直理作とち
物多文明長亨比
同四代目直理作とち
攝州住一とち

石州淀原住一
直經 ○入
備前国一と
お時代不明
直恒 ○入
備前国一と
お時代不明
直長 ○入
越州住石塚一
○右玉門尉一

作とち越前明
備中国一とち
攝州住藤原一
武州住水甲一とち大
應文亀比業物
青江一派應安比
よち貞亨比
月傳五郎と号元文比
直宗 ○入
城州末
の末二

字銘よち
大和国一とち千
文明比
手院一派應永比
備前直宗の末二字銘よ
直信 ○入
備中国住一作と
お青江一派正和比

越中国中条越前守一
とち慶長比真国同人
直正 ○入
攝州住一
よち天正比
備州長船
直房 △入
恒馬大塚藤原
大道一とち濃

州岐阜刀匠後丹後田邊
よ住と寛永寛文の間
直冬 ○入
播州住一と
お時代不明
直有 ○入
石州長濱住一
よち弘治比

一派二字銘よ
石州出羽住一と
紀州住藤原一と
お貞治比業物
お石堂一派元禄比
直行 △入
豊後国鬼鏡一造之○於肥前唐
津一造よち裏以南蛮鉄鍛之と

云銘多一尚行と養子本行と次男と老後
有徹と号元文室曆の間大和守よ任と云
直道 △入
三品丹後守藤原末一とち菊一文字或ハ菊斗
も切洛陽代目丹波の次男三品吉兵と号坂陽

古今段台備考
卷三

住と後兼道改寛文比攝州於播州三品丹後藤原一と抄貞三品左兵衛源一と抄初代通道於城下生鍛作之と抄物有良業在門直次後の銘之享保比作多しより六代の孫と云本國城州伏見天明中濱部壽格門と成東武移住と始免難波父源直格と抄寛政辛亥の年直道改

直鎮 ○二人 平一と抄豊州 高田一派天正比

直秀 ○二人 藤原大道一と抄本國濃州同二代目藤原大道一と抄 岐阜丹後宮津移住と云正比 坂陽までも造る寛永の比

直廣 △二人 大和守藤原一と抄 在所時代不明尾州と云

直元 △二人 平安城下坂一と抄天和比

直助 ○二人 石州長濱住一と抄大永天文の間

直守 ○二人 高田住一作○平一と抄豊後天文比

直盛 ○二人 平一造と抄豊後 高田一派文龜比

尚

尚勝 △二人 紀州住藤原一と抄 直勝同と云享保比

尚宗 ○二人 備前直宗流 直宗同と云

尚行 △二人 豊後高田住藤原一と抄紀行平末流と云 延宝中より肥前唐津移住と直行の養父

尚光 ○二人 備前長船一と或○二字 銘と抄直宗流應安比

成

成家 ○二人 備前吉岡文字二派 備前長船一と抄安部 一派貞治應安の間良業 銘と抄弘長比

成次 ○二人 備前福岡文字二派 備前長船住一と抄建武比 備前吉井住一と抄元 二字銘と抄元應比

成高 ○二人 豊州住一と抄 高田一派天文比

成忠 ○二人 備前吉井一と抄 備前二字銘と抄成高門丹

成綱 ○二人 備前国住一と抄又 備前吉井住一と抄元 備前福岡文字二派 備前長船一と抄建武比 備前吉井一と抄元 備前二字銘と抄元應比

成則 ○二人 備前吉井住一と抄正中の比 後雲州移住と應永の比

成恒 ○二人 備前長船一派二字 銘と抄貞治比

成宗 ○二人 備前吉井一派二字銘と抄元 備前長船一と抄建武比 備前吉井一と抄元 備前二字銘と抄元應比

成光 ○二人 備前長船一と抄文和比 同二代目備前長船一と抄應永比 備前長船一と抄 明應永正の間

成當 △二人 肥前守一と抄元 備前吉井住一と抄正中の比 常陸太目一と抄常陸大掾下坂一と抄越前福井住寛永比

成定 △二人 藤原一と抄藤原一と抄越前福井住寛永比

文 ○備州長船一とち 羽州秋田住一とち相州綱廣一
比 ○明德應永の比 △六兵工と号貞享享保の間
城州堀川住一とち
元和比国廣一乳

成盛 ○二人 備前太宮一 派二
字銘よち貞和比
成助 ○二人 備州長船一
とち永和の比

成繁 △二人 越前住藤原一
とち下坂派貞享比
成廣 △二人

業高 ○二人 備中正恒流二字
銘よち貞永比 ○備中松山二字大
銘よち天文比
業宗 ○二人 三州中原物二字銘
よち文明比業物 ○讃州
尾越

仲 一とち高篠三郎太
天と号建保比と云 ○讃州住一とち播
大和国住一○和州住一或二字銘
よち後紀州入鹿へ移住も正應比

仲國 ○二人 紀州入鹿一派二字
銘よち永正の比
仲真 ○二人 和州千手院一派嘉元
比中光坊とちと云

中 大和国住一○和州住一或二字銘
よち後紀州入鹿へ移住も正應比
中川 ○二人 大和国一とち善教
同人山城とち造

中光 ○二人 和州千手院一派嘉元
比中光坊とちと云
波平 薩州谷山一派の刀匠
波平とち事有
奈良太郎 濃州岡正應比
と云可追考
陀佛 雲州元應比或公筑前法
師或石州直綱の秘銘

波 云不諸流 南無大日觀 備前守
未詳 一世音菩薩 助同人

ム 宗統吉村

宗家 ○二人 備前福岡一文字一
○派字銘よち寛元比 ○備前国一とち
畠田一派文保比

宗遠 ○三人 城州末一派字
銘よち文和比 ○備中則高流二字
銘よち元暦の比 ○備中片山一派字
銘よち應永比

宗利 ○三人 備州長船住一とち
左近太郎と号正申比 ○備州長船一
薩州住一とち 近江守藤原一とち濃州岐阜
後尾州へ移住も寛文延室比

宗俊 ○二人 備州長船一
とち貞治比 ○薩州住一とち川内平
佐住亨禄天文の間

宗友 ○二人 備州長船一派
字銘よち文禄比 ○越中宇津一派字大
銘よち天文比業物

宗時 ○二人 了戒一とち
豊前應安比
宗辰 ○二人 備州長船一
とち亨禄

宗近 ○二人 阿拜郡住一或二字銘
よち伊賀音羽住建武比
宗親 ○二人 三條一とち城
州時代不明
宗吉 ○二人 三條一とち城州
文明比字銘も有

宗 城州埋忠一とち文禄の
年号と切明壽同人 ○大和国一とち千
手院一派延文比 ○壽命一とち濃州
西郡物赤坂住貞治比 ○坂住一とち應永比
命

城州埋忠一とち文禄の
年号と切明壽同人 ○大和国一とち千
手院一派延文比 ○壽命一とち濃州
西郡物赤坂住貞治比 ○坂住一とち應永比
命

一と播州赤坂 濃州赤坂住一或六 若州住一或三字 越州敦賀住一と 越中柴原住一と
住延徳比良業 二字銘は天文比 銘は小濱住文明比 ち越前永亨比 ち應永永亨比

雲州住二郎兵衛尉一とち 備前国一作の宗吉作と太くは二字銘の時大銘の福岡一文字則宗智始
石州一と造る天正比業物 免新太郎兼元中七月番定れ左近将監を任る兼久の後隠岐の国と

番鍛冶く左近太郎又刑 備州長船一 筑州住一とち筑 阿州貝府一と 薩州波平一と 薩州波平一と
部一と号は云未詳 ち永亨比 前左一と治比 字銘は文龜比 字銘は文應の比

日州住一 摂津国源一 摂津守源一 越前敦賀住下總守藤原一 宗能 二人 了戒一とち
とち天文比 ち常陸守宗重一と寛文比 造とち慶長寛永の同業物 豊前豊後両

所は任文 備州長船一とち 越前敦賀住横山藤左門尉 宗善 二人 藤原一とち宗重同人寛文比 宗義 二人 了戒一とち
明比業物 左京宗光一と天文比 二人 藤原一とち宗重同人寛文比 二人 了戒一とち

所時代 播州住鈴木右五郎一 播州宗栗住一 鑲千種丸 鈴木五郎左門一 播州住一
不明 右五郎 右作とち ち坂陽又備前岡山とち造る寛文元禄の同業物 ち右作

の末文 伊賀国住一とち 備前福岡一文字一と 二字銘は兼元中 宗伯 二人 濃州
化比 音羽宗近子貞治比 廿四人の内七月番定る伯州とち造る 二人 川戸

住藤原一とち壽 和州一と 備前福岡一文字一と 二字銘は兼元中 宗伯 二人 濃州
命一と 派寛永の比 老く宮津入道一とち永仁の比 二字銘は兼元中

備中国一とち正恒流 薩州谷山波平一と 宗次 二人 和州高市住一 遠州住一 濃州西
平三郎と号徳治の比 二字銘は永仁比 二人 和州高市住一 遠州住一 濃州西

字銘は嘉 若州住一或三字銘は本國城 備前国分寺一と 備州長船一と 備中青江
吉比業物 州鳥羽よく小濱移住一永亨比 字銘は文應の比 ち明應比業物 一派二字銘

はち泰四郎と 備中住一とち青 波平一とち薩 三品但馬守藤原一 銘於大江岸作と 相州住一と
号寛元比 江一派應永の比 州谷山派天文比 ち撰州住三品兼光一と 寛延宝暦の比 ち時代不明

奥州二本松住一とち古山東藏と号東武末一 越前住藤原一 上総大掾藤原一とち下坂長三郎後九
水心子正秀一と成始は國秀と云享和宗次一 郎左門宗道と改洛陽又坂陽とち造る寛永明暦の同宗房男

と云 越前国武藏守藤原一とち下坂宗次一 播州姫路住一とち本國 肥前諫早住源一 伊豫掾源一
業物 和泉守とち同今云福井住寛文の比 越前下坂一派慶長の比 伊豫大掾源一とち佐賀一と

造る慶長 同代目肥前国住左馬丞源一 宗繼 一人 石州長濱住一 備前国分寺一派二字銘
寛永の同 伊豫掾源一とち貞享元禄比 一人 石州長濱住一 備前国分寺一派二字銘

備前国住一とち島田 備中正恒流二 宗綱 二人 備前国一或二字銘 粟田口政之進一とち坂
一派法名道阿と云正和比 字銘は文應比 一人 備前国分寺一派文應比 陽一竿子の男後忠綱よ

改む元禄比 備後住一とち 宗長 二人 駿州嶋田住一或二字銘は甲目義助次男 若
より造る 親次流永和比 一人 駿州嶋田住一或二字銘は甲目義助次男 若

宗纒 二人 備後住一とち 宗長 二人 駿州嶋田住一或二字銘は甲目義助次男 若
より造る 親次流永和比 一人 駿州嶋田住一或二字銘は甲目義助次男 若

宗纒 二人 備後住一とち 宗長 二人 駿州嶋田住一或二字銘は甲目義助次男 若
より造る 親次流永和比 一人 駿州嶋田住一或二字銘は甲目義助次男 若

住菅原一と本國城州鳥羽と撰州中島来 ○同代菅原住一○菅原 ○同三代目若州小濱住 銘同子次郎
三代目國長門後小濱住と明德應永の比 ○一と永亨比業物 ○了焦と物有了焦三代目と云文電

比 因州住一と歩小 ○備前福岡文字子派字 ○備前國長船一と ○備州長船一と歩 ○備後國三原住
鍛冶派康正と云 ○銘と左馬佐と号貞應比 ○お定後門弘安比 ○奉一派貞治比 ○一と歩文明比

今州住一と歩土州 ○濃州清水住壽命一と ○奥州會津住一 ○播州住藤原一 ○宗栗住 ○肥前國住一と歩明壽
よと造と永祿比 ○お永の字と切寛文比 ○と歩宝永比 ○一と歩永の字と物元祿比 ○と歩雕物と良寛永

比 日州住一と歩 ○慶長の比業物 ○宗永 ○二入 ○城州来一派字 ○備州長船住一と歩撰州住藤原一と歩
○銘と歩建治比 ○と歩建武比と云 ○宗重門貞亨の比 ○宗成 ○二入 ○

九州住一と歩薩隅 ○常陸守一と歩 ○宗壽 ○二入 ○阿州貝府太郎 ○奥州會津住一と歩皆川今右門と号始免
兩州住と文明比と云 ○二代目宗重同人 ○宗尚 ○二入 ○銘と歩山内宗貞男亨保比 ○宗氏 ○二入 ○

備州長船二字 ○備前國一と歩國 ○備州長船 ○宗仲 ○二入 ○分寺一派天福比 ○と歩建武比 ○宗尚 ○二入 ○
銘と歩應安比 ○城州五余字銘と歩長 ○谷部一派明德應永比 ○宗延 ○三入 ○城州大宮派二字銘と歩後 ○城州大宮派

至徳 ○和州住一と歩尾 ○備前國分寺一派 ○備州吉井住 ○五郎入道良一と歩 ○宗國 ○二入 ○
比 宗則 ○二入 ○掛一派貞治の比 ○二字銘と歩安貞比 ○一と歩文親 ○歩在所時代不明 ○宗國 ○二入 ○

土州住一と歩 ○武州下原住一 ○藤五一 ○慈眼寺住一と歩 ○武州下原住一 ○相摸守藤
お應永比 ○在時代不明 ○山本藤五法名宗巴と号寛永寛文の同業物 ○原一と歩山本藤吉と号藏

太郎安國と成國正と改真十五枝 ○備前國文字派 ○備前國長船住 ○豊後紀一派二字
甲伏造の副銘と切元祿享保の間 ○宗安 ○二入 ○二字銘と歩嘉禎比 ○一と歩正應比 ○銘と歩寛元比

撰州住一と歩 ○肥前佐賀住源来一と歩 ○宗正 ○二入 ○備前長船住一 ○肥前國源一と歩諫早
宗重門元祿比 ○伊豫掾宗次門寛文比 ○と歩徳治比と云 ○左馬丞宗次始免の銘と

撰州住五兵衛 ○越前敦賀住下坂一と歩管一上總守一と歩備中英
宗舛 ○二入 ○と歩延宝比 ○宗房 ○三入 ○谷久兵と号寛永比業物 ○賀郡新見住享保比 ○宗貞 ○二入 ○

備後國鞠住 ○播州住藤原一と歩 ○豫州温泉住入道一と歩山内
一と歩永正比 ○津田助廣門延宝の比 ○即右門と号金重流元祿比 ○宗定 ○二入 ○津川住一と歩山州
一と歩城州國 ○豊州高田住 ○宗清 ○三入 ○若州住一と歩二代目 ○備州長船一と歩 ○防州三王一派宗清

路門寛文の比 ○一と歩寛文比 ○宗清 ○三入 ○宗長門康正比業物 ○備後も造天文比 ○作と三字と歩文比

城州大宮派字 ○相州山内一派字 ○宗行 ○三入 ○備前國分寺一派字 ○備州長船住
銘と歩時代不明 ○銘と歩寛元比 ○宗行 ○三入 ○銘と歩宗助門文應比 ○一と歩應安

波平一と歩薩州 ○羽州米沢住一と歩行廣弟小林 ○豊州住一と歩高 ○大隅守一と歩元祿比
比 ○谷山派永祿の比 ○管右門と号水字正秀門享保 ○田派貞享比 ○在所不明尾州打と云 ○宗光 ○七入 ○

宗幸 ○二入 ○城州大宮派字 ○相州山内一派字 ○宗行 ○三入 ○備前國分寺一派字 ○備州長船住
銘と歩時代不明 ○銘と歩寛元比 ○宗行 ○三入 ○銘と歩宗助門文應比 ○一と歩應安

城州大宮派字 ○相州山内一派字 ○宗行 ○三入 ○備前國分寺一派字 ○備州長船住
銘と歩時代不明 ○銘と歩寛元比 ○宗行 ○三入 ○銘と歩宗助門文應比 ○一と歩應安

城州大宮派字 ○相州山内一派字 ○宗行 ○三入 ○備前國分寺一派字 ○備州長船住
銘と歩時代不明 ○銘と歩寛元比 ○宗行 ○三入 ○銘と歩宗助門文應比 ○一と歩應安

城州大宮派字 ○相州山内一派字 ○宗行 ○三入 ○備前國分寺一派字 ○備州長船住
銘と歩時代不明 ○銘と歩寛元比 ○宗行 ○三入 ○銘と歩宗助門文應比 ○一と歩應安

城州大宮派字 ○相州山内一派字 ○宗行 ○三入 ○備前國分寺一派字 ○備州長船住
銘と歩時代不明 ○銘と歩寛元比 ○宗行 ○三入 ○銘と歩宗助門文應比 ○一と歩應安

○濃州西郡物二字 若州小濱住 越前府中住来 越前国住兵尉末 作州住 作州塚谷住六 銘 永亨比 左兵尉 曆應貞和の同良業 即左兵尉 長亨永

正の間 東於伯耆国嶋作 於播州作之 備州長船住 備州長船左京進 守元の次男 文明丁未の 業物 明應年号 長亨年号 将監長光口中比 年号 同銘と始て 永正庚午迄の同作有長亨

比上京と兄勝光と共 備州長船左近 備州長船太左尉 太即兵勝光の弟 兄 越前敦賀住藤原 諸国々の商作は良業 弟西作多々 文永祿の間 備前国鞆原郡長船 物有郡名不審業物 元和の比

宗道 △三八 越前国住上総大掾藤原 上總守藤原 同代目越前住下坂藤原 菅 越前 菅谷九郎右門 号福井乃匠下坂 始多宗次 寛文比 谷勝三郎 号元文丙辰東武 住上

總大掾藤原 天明比何代目未詳 **宗重** △八八 △五八 武州下原住源朝目 若州小濱住 越前 前 造 永祿の比 賀州住藤原 山本源二 号天正比 前 造 永祿の比 永正比業物

播州住 坂本住 本国俱州白山 備州長船 備後国三原住 大嶋住 金重流井上源次郎 号永正比 以下数代 其不明 字銘 太永比 号 輒一派大永の比 号 藝州也

康正 平戸住 肥 撰津住 常陸大掾 常陸守 号 裏銘 於撰州西成九条嶋作之 比 前應永永亨比 物有本國播州 多由宇兵工 号坂陽 津田助廣 成寛文の比

業 同代目常陸守 常陸守源朝臣 多由三郎左門 越前住横山藤左門尉 播州住藤原 物 号後東武移住 嘉重 宗成 号 負亨元祿の比 業物 宗賀同人寛文の比 号 井上市

左門 号寛永比 尾張大掾 二代目大重 寛文比在所不明 **宗茂** △八 埋忠七左門 明寿五代の孫 七左門 号元祿正徳の同影物佳 **宗秀** △三八 備州長

字銘 備州長船住 豊後紀行平秘 仙臺住 奥州天正の比 石州長濱住 備 正應比 号 負和比 銘と云 兼久の比 △八 奥州天正の比 号 時代不明 前

国住 号 函分寺 日置越前守源 十六茶の菊 本國江州石堂一派 平安城 移住 東武 溥居 光平の弟 明曆延宝の同良業 **宗廣** △八 越前十 代 一

派 貞治比宗廣作 撰州住 常州東條住 **宗平** △八 肥前佐賀住佐渡大掾藤原 同二代目肥 三 字 弘の字 号 寛文の比 号 享保比 埋忠 号 城州 一 号 廣貞 勇延宝の比 前住藤原

元徳 **宗助** △二八 備前福岡二文字二 備前国住 或 三 字 銘 比 字 銘 号 天福比 号 国分寺一派 建長の比 **宗元** △八 備州長船一派 二 字 銘 比 号 正徳の比 長船一派 永正比 明壽 号 寛永の比 号 将監長光 云

比 号 正徳の比 備前福岡二文字二 備前国住 或 三 字 銘 比 字 銘 号 天福比 号 国分寺一派 建長の比 **宗末** △二八 備前国長 一 号 寛元の比 備中国住助左門尉 宗末作 号 寛正 年号有若州と云 **宗住** △八 洛陽稻荷住 撰州 造 宗澄 号 同人寛文の比

号 寛元の比 備中国住助左門尉 宗末作 号 寛正 年号有若州と云 **宗住** △八 洛陽稻荷住 撰州 造 宗澄 号 同人寛文の比

宗命 △八 濃州西郡物二字 字 銘 号 元久比 号 武州石堂 一派 号 寛文の比 **宗入** △八 一派 号 寛文の比

統

統景

豊後高田住藤原一と号正保寛文の同肥
前と号造りや近江大塚忠廣と両作有

統種

豊後高田住平
一と号寛文比

統行

豊後高田住藤原一と号相模
守は任まるとも未見時代不明

豊後高田住中曆新五郎藤原一と号同二代目豊州高田住
藤原一と号号慶長比業物
藤原一と号延宝比

統道

豊後高田住藤原一と号相模
守は任まるとも未見時代不明

統久

豊後高田住藤原一と号時代不明

統盛

豊後高田住藤原一と号寛永比業物

吉

吉國

奥州伊達郡住一と号佐野沢右
衛門と号水心子正秀門享和比

吉秀

奥州二本松住一と号増子
忠右門と号正秀門享和比

村

村吉

江州蒲生住一と号文龜比

村長

備州長船一と号
近村流應永比

村宗

備州長船一と号村長門左
近太郎と号も永亨の比

村正

勢州桑名住一字銘よち五郎正宗門
流仙五子と号云法名妙基延文比

村重

勢州住千子一と号嘉吉比

村守

備州長船

勢州桑名住一と号文
龜永正比二字銘と号

村光

備州長船一と号天文の比

村重

勢州住千子一と号嘉吉比

村守

備州長船

一泷二字銘よち藤
四郎と号正應比

備州長船一と号應永の比

村上

仙五三代目村正の銘文字腐
うると誤る云付るあり

ウ

氏雲梅埋右瓜

氏

氏余

阿州住一と号海府一
派家と号切長亨比

氏俊

越後守源一と号濃州関の産
え洛陽も住定道族貞亨比

氏利

備州長船一と号永正

氏勝

紀州住一と号都筑久太夫
△人と号羽掃橋住も時代不明

氏吉

阿州三好郡住三字銘よち貝府
太郎と号康曆應永の面

氏良

阿州住海

氏善

阿州貝府一派二字
銘よち享保の比

氏依

阿州貝府一派二
字銘よち文明比

氏次

若狹守藤原一と号本國濃州関
氏房族尾州鳴海住方治寛文比

氏良

△人

氏依

備前国住佐兵衛
一と号建武の比

氏次

阿州海部住一と号阿州
住兵部一と号文明比

氏恒

尾州住越前

氏成

肥前国住一と号文明の比
大和守藤原一と号濃州関一派角
田九兵衛と号丹後守も貞亨の比
兵部と号享保比

氏恒

尾州住越前

氏成

肥前国住一と号文明の比

氏也

藤原一と号加
州延徳比業物

氏命

大和守藤原一と号濃
大垣住尾州あくと号

氏信

濃州清水住岩捲
濃州住一と号岩捲
濃州住岩捲石切一と号
越前住藤原一と号元禄比
一と号時代不明

氏命

大和守藤原一と号濃
大垣住尾州あくと号

氏宣 △二人 濃州住岩捲一〇尾州住藤原一〇或二字銘を元禄比

氏國 △二人 尾州住藤原一〇と貞貞比

氏雲 △二人 長門守藤原一〇と尾州寛永比

氏安 △二人 阿州貝府一〇派二字銘

氏正 △二人 濃州住一〇と時代不明

氏房 △四人 左門尉一〇若狭守藤原一〇若狭守一〇飛騨守

氏貞 △二人 左近少将一〇權少将出雲守藤原一〇出雲守一〇と本國濃州関後

氏房 △二人 三代目五代目信高養子と成信照と改

尾州住一〇と生國濃州関元禄比同

阿州貝府一派字 薩摩守法京院一〇甲州住一〇肥後隈

阿州貝府一派字 薩摩守法京院一〇甲州住一〇肥後隈

阿州貝府一派字 薩摩守法京院一〇甲州住一〇肥後隈

阿州貝府一派字 薩摩守法京院一〇甲州住一〇肥後隈

阿州貝府一派字 薩摩守法京院一〇甲州住一〇肥後隈

阿州貝府一派字 薩摩守法京院一〇甲州住一〇肥後隈

阿州貝府一派字 薩摩守法京院一〇甲州住一〇肥後隈

阿州貝府一派字 薩摩守法京院一〇甲州住一〇肥後隈

阿州貝府一派字 薩摩守法京院一〇甲州住一〇肥後隈

阿州貝府一派字 薩摩守法京院一〇甲州住一〇肥後隈

阿州貝府一派字 薩摩守法京院一〇甲州住一〇肥後隈

阿州貝府一派字 薩摩守法京院一〇甲州住一〇肥後隈

阿州貝府一派字 薩摩守法京院一〇甲州住一〇肥後隈

備前正中文字一派 備前国吉井一〇と

源一〇と貞貞和比 明德の比業物

長門守藤原一〇と尾州寛永比

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

阿州貝府一派字銘を肥前よ 駿河守一〇と

段台備考

卷三

下六

備前

讃岐守藤原一と云尾州 紀州住一と云氏 越前大塚藤原一と云
享保比後威廣一改む 勝一汎時代不明 肥前佐賀吉廣男貞享比

雲

雲同 ○二人

○奥州舞草一汎一宇銘云
嘉禎比雲頭同云

○備前鶴飼庄一汎
二字銘云延元比

雲頭 ○一人

○奥州雲同
同人と云

雲藤 ○一人
相州
山内

一汎二字銘云新
四郎と号建長比

雲住 ○一人

備中二字銘
云弘安比

雲林院 ○一人

和州一代目手搥包永勢州 蘇州廣嶋住今村政
まて造時如云二字銘云 威如此三字銘云

雲次 ○三人

○備前国住一或二字銘云長船一汎の出やうと鶴飼庄
住と国吉後の銘云亨建武の間改名の傳雲生の事書し記す

○同二代目備前国住一或六二
字銘云貞和延文の間良業

○同三代目備前国住一造或二字
銘云云應安應永の間業物

雲生 ○一人

平安城一 備前国住一或二字銘云建武比作多一良
業 備前国鶴飼庄物の祖始を長船一汎云と国友と云弟と

国吉と云一元年年中上京して 後醍醐天皇の蒙 勅命兄弟御太刀と造る此時国友国吉天を祈て 獻愚は應
まて造る名剣と造り得ば先王と一心を祈願す或夜浮雲と焼又摸して淬びて夢に覺る後それと語る兄弟
相共よ同一夢を正しく天の御告也として御太刀と鍛え淬の時霊夢の如く土取と為る 焔又と渡ると無
比類出来らる則ち御太刀と捧げ彼の霊夢と奏聞は甚 天氣は惚ひ兄ハ雲生弟ハ雲次と銘と鑄る
蒙 勅諭是より雲生
雲次と改めらる云
雲上 ○二人
○雲州二字銘云後伯州小鴨は住と或ハ
生国越前法師と云 如此も貞和比
○備前鶴飼庄一汎文

和比

雲重 ○一人

備前国住一 或二字銘云備前
鶴飼庄雲生男始先守重と云文和康暦の間

梅

梅利 ○一人

尾州住一と
云嘉吉比

梅忠 ○一人

尾州二字銘
云文明比

埋忠

城州西陣住明壽享銘云同一汎
の者如此二字銘云云の云々

右

右衛門 ○一人

肥後同田貫一と云
馬加氏云夫正比業物

右衛門次郎

濃州赤坂千手院一汎云々
字銘云貞治比仙心同云

右任 ○一人

隅州惣小
河村佐藤

壹岐守一 作之或二字
銘云云天文永祿の間

右弘 ○一人

備中国一と云
片山一汎永和比

右作 ○二人

播州鈴木宗榮如此二字
銘云云右の字斗と切

瓜

瓜實 ○一人

筑前貞治比瓜実と二字銘云云豊後
安則末裔と云大和瓜実ハ延吉の事云

則

則家 ○二人

山内一 或二字銘云備前福岡 文字一汎云
助真と共相州山内へ移住と新五郎と号弘長の比

備後国一と云 加賀国八郎藤原一
三原一汎文明比 一と云時代不明

則利 △三人

越前住一 常陸大日益壽入道 越中国吳服山住一 越中郷則重十六代末富士太郎
一と云則光の末元祿比利重類と云 一と云葉太郎一と云常州水戸と云天和貞享比

則教法範儀徳順憲應意度信延宣江堪陳

行全段台備考

卷三

七

龜峰雜載

同二代目武州城下富士一〇藤原一〇則時〇二入 備前福岡文字末流二
字銘も明徳應永比 〇城州来二派二子 〇城州大宮中納言作と云 〇備前福岡
正安比 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一
字銘も亦 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一
正安比 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一

則兼 〇三入 〇城州来二派二子 〇城州大宮中納言作と云 〇備前福岡
字銘も亦至徳比 〇文字と切信兼同作と云 〇郎兵衛尉一
〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一

則包 〇二入 〇江州来一〇来一〇 〇雲州道永派二 〇備前豊原万壽在住左近太郎一〇或
〇栗津一派永和比 〇字銘も亦至徳比 〇二字銘も亦福岡一文字一派弘長の比
〇備前國住一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一

則景 〇三入 〇備前福岡文字一派 〇備前長船住一 〇薩州波平
〇二字銘も亦天福の比 〇一〇亦應安比 〇一派二字銘
〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一

則吉 〇二入 〇備前福岡一文字一派 〇武州住一〇亦一文字則吉
〇二字銘も亦文永の比 〇末四郎兵衛と号元禄比 〇備前長船一
〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一

則義 〇二入 〇武州石堂一派二 〇攝州一〇亦 〇備前福岡文字一派
〇字銘も亦貞享比 〇時代不明 〇二字銘も亦正嘉比 〇備前長船一
〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一

則依 〇二入 〇備前福岡文字一派 〇備前長船一
〇備前福岡文字一派 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一

則常 〇三入 〇和州二字銘も亦建久比或上一二在亦 〇備前吉岡文字一派二字
〇奥州玉造住同人と云 〇天延比と云 〇銘も亦源大夫と号正應比 〇後備中へ移住も備太夫
〇備前長船一派二字銘も亦 〇備前長船一派二字銘も亦

則恒 〇二入 〇伯州二字銘も 〇備前國吉井住一
〇亦寛喜比 〇亦則綱族嘉吉比 〇備前福岡文字一派二
〇備前福岡文字一派二 〇備前福岡文字一派二

則綱 〇三入 〇備前國吉井一〇或二字銘も 〇藝州住源一〇或二字銘も亦坂原善助と号本國
〇備前國吉井一〇或二字銘も 〇藝州住源一〇或二字銘も亦坂原善助と号本國
〇備前國吉井一〇或二字銘も 〇藝州住源一〇或二字銘も亦坂原善助と号本國

則次 〇四入 〇備前長船一派字銘も亦兼元中廿四の 〇備前國新田住
〇内六月番も定々藤兵衛尉と号 〇備前國住一
〇備前長船一派字銘も亦兼元中廿四の 〇備前國新田住
〇内六月番も定々藤兵衛尉と号 〇備前國住一

則長 〇二入 〇平安城一〇或公季
〇銘も亦綾小路住正安
〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一

則直 〇二入 〇備前長船一
〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一

則永 〇二入 〇平安城一〇或公季
〇銘も亦綾小路住正安
〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一

則成 〇四入 〇大和國住一〇作亦尻 〇雲州二字銘も亦 〇備前吉岡文字一派
〇掛派建武比業物 〇和州則弘康元比 〇二字銘も亦建治比 〇備前長船一
〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一

則宗 〇四入 〇駿州眞田住一〇備前國
〇備前國住一〇亦福 〇備前國吉井一
〇備前國住一〇亦福 〇備前國吉井一
〇備前國住一〇亦福 〇備前國吉井一

則應安比 〇岡一文字一派嘉元比 〇亦應永比
〇備前國住一〇亦福 〇備前國吉井一
〇備前國住一〇亦福 〇備前國吉井一
〇備前國住一〇亦福 〇備前國吉井一

則長 〇四入 〇大和國住一〇作亦尻 〇雲州二字銘も亦 〇備前吉岡文字一派
〇掛派建武比業物 〇和州則弘康元比 〇二字銘も亦建治比 〇備前長船一
〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一 〇備前長船一

則應安比 〇岡一文字一派嘉元比 〇亦應永比
〇備前國住一〇亦福 〇備前國吉井一
〇備前國住一〇亦福 〇備前國吉井一
〇備前國住一〇亦福 〇備前國吉井一

福岡文字の祖備前大夫と号美元中正月番と定めし菊文字蒙 勅許 ○備前長船派二字銘と号 ○備前
刑部監改其四の時十月番と秘銘 ○香宮の字斗と号或八行宗と号と云 ○後相州山内移住弘安比 ○長船

派則宗作と三字 ○備前長船 ○則村 ○入 備前長船 ○則氏 ○入 越前千代雀派二 ○則宣 ○入 濃州上有知住
大銘と号亨徳比 ○則村 ○入 備前長船 ○則氏 ○入 越前千代雀派二 ○則宣 ○入 濃州上有知住
字銘と号文祿比 ○則村 ○入 備前長船 ○則氏 ○入 越前千代雀派二 ○則宣 ○入 濃州上有知住

則國 ○入 藤馬丸 ○或公字銘と号城州栗田国友男 ○大和国 ○作と号虎 ○伯州小鴨住字 ○備
林氏隱岐国と於て番鍛冶と定めし貞應比 ○縣派延文の比 ○銘と号自治比 ○州

長船 ○浦上運三郎 ○と号則光 ○平安城 ○則安 ○三入 藝州住 ○と号 ○備前国 ○と号 ○同田
と号作多 ○康正延徳久間業物 ○と号寛文比 ○則安 ○三入 藝州住 ○と号 ○備前国 ○と号 ○同田

肥後菊池天正比 ○道田 ○と号 ○則房 ○六入 濃州上有知住 ○作州住 ○と号 ○備前福岡文字派字銘と号
肥後菊池天正比 ○道田 ○と号 ○則房 ○六入 濃州上有知住 ○作州住 ○と号 ○備前福岡文字派字銘と号

比 ○同代官二字銘と号同有馬丸と号 ○備前長船 ○越中国藤原 ○富上津住 ○撰
後備中移住と号造建比 ○と号文安比 ○字銘と号建長比 ○津住藤原 ○裏
銘於武州作之と号と州

了造と号服御則重 ○藝州住源 ○と号坂原總左 ○と号本国肥前佐
末流と号寛永方治の間 ○賀則綱と号 ○廣嶋移住 ○慶安寛文の間業物 ○則耀 ○三入 伯州
住 ○と号 ○備前国 ○と号福岡

應永比 ○文字派元應比大業 ○則真 ○五入 大和住 ○作と号 ○備前長船派字
住 ○と号 ○備前国 ○と号福岡 ○則真 ○五入 大和住 ○作と号 ○備前長船派字
應永比 ○文字派元應比大業 ○則真 ○五入 大和住 ○作と号 ○備前長船派字

備前片山派二字 ○二字銘と号在 ○則實 ○三入 備中青江派字銘と号美元中廿四人の内 ○備中国
銘と号正應比 ○所時代不明 ○則實 ○三入 備中青江派字銘と号美元中廿四人の内 ○備中国

派弘長 ○紀州粉川住 ○と号
比良業 ○彦高郎と号嘉吉比 ○則貞 ○五入 大和国 ○作と号 ○越中則重門二字 ○備前国 ○と号福
備前国吉井住 ○と号後 ○豊後国朽綱郷住 ○則定 ○三入 於洛陽藤原 ○と号 ○同代目平安城藤
雲州移住す應永の比 ○人 ○と号宝徳比 ○則定 ○三入 於洛陽藤原 ○と号 ○同代目平安城藤

原 ○と号 ○豊後住藤原 ○と号
貞享比 ○朽綱の則貞末元祿比 ○則清 ○三入 城州栗田派二字銘と号 ○因州住 ○と号小鍛冶 ○備前国
移住と号文安比 ○則心 ○二入 備前長船住 ○則來 ○二入 備前福岡文字派
肥前諫早住 ○と号 ○豊後高田住藤原 ○則光 ○三入 平安城 ○と号 ○大和国住 ○或公字銘と号
散位一派應永比業物 ○と号元祿比 ○則光 ○三入 平安城 ○と号 ○大和国住 ○或公字銘と号

加州住 ○と号石州雲 ○備前国長船住 ○と号將監長 ○備前長船 ○と号
お天文比 ○州 ○と号造と号永亨比 ○光門後則宗と号と号云正和比 ○永徳比小銘と号 ○と号助右
三門と号明德應 ○備前長船左門尉藤原 ○備前長船 ○或公字銘と号五郎左門 ○備前長船 ○と号三郎左
永の比良業 ○と号文明元年生年七十七と号銘有應永の末と号造と号と号良業 ○三門と号長亨比 ○永平

備前長船 ○則心 ○二入 備前長船住 ○則來 ○二入 備前福岡文字派
肥前諫早住 ○と号 ○豊後高田住藤原 ○則光 ○三入 平安城 ○と号 ○大和国住 ○或公字銘と号
散位一派應永比業物 ○と号元祿比 ○則光 ○三入 平安城 ○と号 ○大和国住 ○或公字銘と号

加州住 ○と号石州雲 ○備前国長船住 ○と号將監長 ○備前長船 ○と号
お天文比 ○州 ○と号造と号永亨比 ○光門後則宗と号と号云正和比 ○永徳比小銘と号 ○と号助右
三門と号明德應 ○備前長船左門尉藤原 ○備前長船 ○或公字銘と号五郎左門 ○備前長船 ○と号三郎左
永の比良業 ○と号文明元年生年七十七と号銘有應永の末と号造と号と号良業 ○三門と号長亨比 ○永平

備前長船 ○則心 ○二入 備前長船住 ○則來 ○二入 備前福岡文字派
肥前諫早住 ○と号 ○豊後高田住藤原 ○則光 ○三入 平安城 ○と号 ○大和国住 ○或公字銘と号
散位一派應永比業物 ○と号元祿比 ○則光 ○三入 平安城 ○と号 ○大和国住 ○或公字銘と号

加州住 ○と号石州雲 ○備前国長船住 ○と号將監長 ○備前長船 ○と号
お天文比 ○州 ○と号造と号永亨比 ○光門後則宗と号と号云正和比 ○永徳比小銘と号 ○と号助右
三門と号明德應 ○備前長船左門尉藤原 ○備前長船 ○或公字銘と号五郎左門 ○備前長船 ○と号三郎左
永の比良業 ○と号文明元年生年七十七と号銘有應永の末と号造と号と号良業 ○三門と号長亨比 ○永平

備前長船 ○則心 ○二入 備前長船住 ○則來 ○二入 備前福岡文字派
肥前諫早住 ○と号 ○豊後高田住藤原 ○則光 ○三入 平安城 ○と号 ○大和国住 ○或公字銘と号
散位一派應永比業物 ○と号元祿比 ○則光 ○三入 平安城 ○と号 ○大和国住 ○或公字銘と号

加州住 ○と号石州雲 ○備前国長船住 ○と号將監長 ○備前長船 ○と号
お天文比 ○州 ○と号造と号永亨比 ○光門後則宗と号と号云正和比 ○永徳比小銘と号 ○と号助右
三門と号明德應 ○備前長船左門尉藤原 ○備前長船 ○或公字銘と号五郎左門 ○備前長船 ○と号三郎左
永の比良業 ○と号文明元年生年七十七と号銘有應永の末と号造と号と号良業 ○三門と号長亨比 ○永平

三三比追の 備前長船一と太左門 備前長船一或二字大銘 備前長船一と卑銘振の者 作多業物 一と号天文永祿の間業物 一と号物多文明延徳の間 一と号明應比惣一則光十七人有と

云説河内 越前住一と越中 丹後宮津郡住左近將監 一銘於 備中國一と 未詳 則重末流寛永の比 武州江戸作之と物多時代不明 一と号時代不明

則道 一八 正繩と号後上京一と丹波守吉道一と成受領の時改名元祿比 丹波守一と薩州鹿兒府岩元勳左門一と号始正房一と

則重 〇四八 越中婦負郡御服 住佐作一と越中 國一或二字銘多一五郎三郎と号初免同國義弘一と後相州来一五郎 越後國住一と越中義 正示一と成此地一と相摸國住一と号文保正比一と号多御服御と唱 弘一と相州一と造貞治比 一と号天

文 薩州波平 尾州住藤原一と武州川越久保市住 大和國一と葛木山一と和州千手院 比 一と派建治比 一と号寛文元祿の間 藤原一と号寛永比 一と派一と上街道岸田村尾縣住一

尾縣太郎と号一と大倭大明神の神事の時神樂此岸由村一休息す故一其場の名と尾縣と号一敷石一と 廻一と六字の名號の石碑有碑の頂上の形真の劔形一と尾縣一と派ハ此形と中心先一と摸と云一建長比

備前長船一と 則廣 一八 丹羽相摸守源一と号本國紀州石堂 櫻津住富士藤原一と銘於武州江 一と号嘉吉比 一と派一と坂陽一と住傳右門一と号貞享比 一と戸作と云銘一則房の族寛文比

近江國高木住藤原一と河内守一と号寛文比 則平 〇一八 備前國一と号福 一と号廣吉一と号寛永の比 在所不明越前一と号如 一と文字一と派天福比 一と文字一と派天福比 則久 〇一八 備前國 吉井一と派

二字銘一と 則秀 〇二八 備前長船一と 城州一と派一と字銘一と 後丹波移住一と弘安比 城州来一と派一と 嘉吉比 一と号文安比 則守 〇三八 城州一と派一と字銘一と 後丹波移住一と弘安比 城州来一と派一と 一と文字一と派文永正應の間良業 一と号永亨比 備前長船一と 則末 〇五八 備前長船 住一と号

長船一と 則助 〇二八 備前福岡住一或二字銘一と 備前長船一と 一と号康正比 一と文字一と派文永正應の間良業 一と号永亨比 備前長船一と 則末 〇五八 備前長船 住一と号

應永 肥前伊佐早住人散位一と諫早住一と 同代目散位一と号 肥後 比 一と号大村一と造初免利成一と号貞和比 物多一應永比業物 一と号文明比業物 國住

一と号 肥前増田住一と号 則商 〇一八 備前長船一と号永 正比高の字の誤れ 則房 〇一八 備前國住一と号 貞治比 散位の末寛文の比 正比高の字の誤れ 建治比文字不明

教景 〇一八 越前國一と号 亨祿比業物 則商 〇一八 備前長船一と号永 正比高の字の誤れ 則房 〇一八 備前國住一と号 建治比文字不明

教光 〇一八 筑後國一と号大石 一派文龜の比業物 則仁 〇一八 城州元曆比行 古一と号と云 則安 〇一八 藤原入道一と号 在所時代不明

法光 〇三八 備前長船一と号小 備前長船一と号文 銘一と切應永比良業 寛正の比業物 龜永正の間業物 則道 〇三八 城州 住一と号

一と号銘太一坂陽 同代目城州西岡住末一と号 攝州住一と 法廣 〇一八 一と号寛文比 法助 〇一八 山城國末一と 一と号造る寛文比 向日明神の辺一と住貞享の比 一と号寛文比 一と号貞享比

範景 ○二人 備州長船一
と明徳の比
範宣 ○二人 備前吉岡文字一
二字銘は貞治比
範行 ○二人 伊豆国一
と時代不明

儀重 ○二人 隅州住一
と天正の比
儀廣 ○二人 二字銘は在
所時代不明

徳能 ○二人 了戒一と
豊後天文比
徳綱 ○二人 平一造と
豊後高田派天文比

順行 ○二人 豊州三重住藤原一
と高田派永正比
順慶 ○二人 二字銘は備州長船
初代長光の法名
順城 ○二人 二字大銘は城州住源
左門信国の法名也

憲重 ○二人 上野住一
と天文の比
應代 ○二人 肥後延壽の末二
字銘は時代不明
意忠 ○二人 日州住一と古
屋住天正比と云

憲重 ○二人 住慶長比
意重作と
度定 ○二人 二字銘は天文比在
所不明豊後と云

信家 ○三人 長岡住一と
城州時代不明
信舎 ○二人 濃州住一と
岩捲派永禄比
信春 ○二人 奥州盛岡住源一と新藤信
吉長男平公と号寛政文化の間

信屋 ○二人 和泉守藤原一尾州信家
後銘慶安寛文の間
信友 ○二人 加州住藤原一と信貞男
太郎右と号享保元文比

信具 ○二人 大和国一と
手院派正和比
信友 ○二人 加州住藤原一と信貞男
太郎右と号享保元文比

信利 ○二人 山城守藤原一と
黒田助六と次男清左と号天和元禄の間大和守と云
信近 ○二人 備前国住一と
と福岡文字派

信具 ○二人 大和国一と
手院派正和比
信友 ○二人 加州住藤原一と信貞男
太郎右と号享保元文比

信利 ○二人 山城守藤原一と
黒田助六と次男清左と号天和元禄の間大和守と云
信近 ○二人 備前国住一と
と福岡文字派

信兼 ○二人 城州栗田派派元比信兼作
と文字と切則包同と云
信包 ○二人 了戒一と
城州長禄比

信勝 ○三人 近江守藤原一と尾州目信
高門金右と号正徳比勝の字と切と林藏と号宝曆比
奥州盛岡住源一と
備前福岡文字派字派字銘は長原
権郎後左近將監右近と号兼比

信吉 ○二人 備州長船一
と洛陽住高井信濃守藤原一と
同二代目尾州住藤原一と
同二代目信濃守藤原一と
高井越前守源末一と越前守源末一と
同二代目信濃守藤原一と
高井阿波守
造る延宝宝永の間入道源末一と洛陽初代信吉三男と坂陽住延宝元禄と同業物
藤原一と

信吉 ○二人 備州長船一
と洛陽住高井信濃守藤原一と
同二代目尾州住藤原一と
同二代目信濃守藤原一と
高井越前守源末一と越前守源末一と
同二代目信濃守藤原一と
高井阿波守
造る延宝宝永の間入道源末一と洛陽初代信吉三男と坂陽住延宝元禄と同業物
藤原一と

信吉 ○二人 備州長船一
と洛陽住高井信濃守藤原一と
同二代目尾州住藤原一と
同二代目信濃守藤原一と
高井越前守源末一と越前守源末一と
同二代目信濃守藤原一と
高井阿波守
造る延宝宝永の間入道源末一と洛陽初代信吉三男と坂陽住延宝元禄と同業物
藤原一と

信吉 ○二人 備州長船一
と洛陽住高井信濃守藤原一と
同二代目尾州住藤原一と
同二代目信濃守藤原一と
高井越前守源末一と越前守源末一と
同二代目信濃守藤原一と
高井阿波守
造る延宝宝永の間入道源末一と洛陽初代信吉三男と坂陽住延宝元禄と同業物
藤原一と

洛陽初代信吉の弟市之丞 相摸守 阿波信吉の男 尾州住藤原 市之丞と号坂陽住 天和此説未詳 作十郎と号後洛陽三条移住

金高と改む 尾州住 五代目信高 奥州盛岡住源 信国 寛文の比 忠八郎と号明和安永の比 四代目新藤平八号天明寛政 信良 備州長船 貞治比大宮

一派の 信賀 備州長船 肥後同田貫 洛陽武田源 撰州竹田 出と云 高門助九郎と号享保比 武藏国住藤原 信好 肥後同田貫

住と 信榮 尾州住 四代目信 信善 伯耆守藤原 本國濃州上有知 三 云 高門助九郎と号享保比 阿弥兼則末葉河村左五門と号天正辛卯の年於京

信仍 石見守藤原 越前住寛文比 信高 伯耆守藤原 本國濃州上有知 三 都受領慶長の初尾州清洲移 同庚戌の年名古屋屋薄 同二代目伯耆守藤原 河村伯

住と寛永癸酉の年隱居 慶遊と改同丙子の年没と業物 老と号寛永癸酉の年受領寛文寅 の年六拾歳 入道 前伯州山月雨遊入道 山月 同三代目伯耆守藤原 同三之丞と号

居士と号元禄己巳の年没と此作と世初代と号 丞と号寛文己巳の年受領と宝永丁 亥の年没法 同四代目伯耆守藤原 同三之丞と号初免信照と歩正徳 同五代目藤原 名道剣と云 辛卯の年改名享保己酉九年没法名道勲と云受領の年不明 同三之丞と号

初免信照と歩享保庚戌の其改名と此代 同六代目藤原 歩実ハ濃州関氏舟男孫四郎と号養 受領と云 天明癸卯の年没法名米布と云 子と成河村三之助信照と改天明癸卯の年三之丞信高改 名同年冬没 同七代目橘井四郎 初免猪平と号 同八代目尾張国住 六代目信高門甚之 法名宗堅と云 天明癸卯の年家督と後有故退散と 進信直後見 師の家と興と文化

信忠 加州金沢住藤原 長州住藤原 備中青江一派 備後国鞆住 肥後同田貫 信繼 撰州住 本國尾州 三原一派康正の比 歩慶長比 信常 尾州住 三原一派康正の比 歩慶長比 信綱 伊豆守藤原 奥州磐城 信長 和州當廣一派 二子銘と歩後越前浅古移住 同二代目越州住 加州藤島一派 同二代目三子銘と歩文安 越 浅古當廣と唱應永比良業 一と歩長禄比業物 字銘と歩應永比 比父子と歩浅古と別人 後

山村一派二子銘 備州長船 同二代目備州長船 信永 備州長船 歩至徳の比 歩貞治比業物 一と歩應永永亨比 信直 備州長船 備州長船 一と歩明 清水甚之進 一と歩尾州六代目信高 八代目信高と後見 字銘と歩正應比 應永正の間業物 歩後坂陽上尾崎助隆の 成又後薩州行き奥元平 成

備州長船一と歩明 清水甚之進 一と歩尾州六代目信高 八代目信高と後見 字銘と歩正應比 應永正の間業物 歩後坂陽上尾崎助隆の 成又後薩州行き奥元平 成

備州長船一と歩明 清水甚之進 一と歩尾州六代目信高 八代目信高と後見 字銘と歩正應比 應永正の間業物 歩後坂陽上尾崎助隆の 成又後薩州行き奥元平 成

元長と改 ○尾陽住一と号八代目信高文化比

信作 ○一人 馬加一と号肥後同田貫一派と云天正比

信宗 ○一人 備州長船一派と号銘と号

弘長 尾州住一と号八代目信比 高門清八郎と号正徳比

信統 △一人 奥州磐城住藤原一と号岡田氏時代不明

信氏 ○一人 備州長船一派と号銘と号 或士昇住と号と云貞治

比 尾州住一と号二代目信高門茂 左門と号寛永寛文之間

信國 △一人 城州末光重男弥立郎と号二字銘と号信濃小路と住 後安茶坊門と号建武比相州貞宗門と云法名清

久 ○同二代目平安城一或二字銘多一 源五郎と号貞治の比業物

○同三代目源左門尉一或二字銘と号 園城寺一或二字銘と号 城州二代目信國一族

○初名信光と号孫左衛門と号 永知と号永徳の同業物

○城州二代目信國門と号と号初名 信國祥雲入道と号城州 刑部尉一

○應永永亨比二字銘と号 刑部

丞一或二字銘と号 源式部丞一と号 城州文安比業物

○城州三代目信國門と号と号初名又八郎定光と号後筑紫系移住一 信國と改む○豊州宇佐住一或二字銘と号應永の年号切

物多一此子孫豊之前後兩州は祭元信國 其了戒某と号同族と云以下歴代等未詳

○堀川住一と号城州至徳比と云 大和国一と号千 手院一派正和比

○若 二字銘と号應永比城州了 越後二字銘と号山村正信の後 備州長船一派と号 備中 一信國此国末との作と云 銘應安比或安信後銘共云 銘と号嘉禎比 備州長船一派と号 備中 国住

作と号青 江派應安比 豊州宇佐住一或二字 銘と号定光後銘

○豊後嘉禎比 信吉門元禄比 新藤氏寛文比 箱崎八幡境

内住一と号物祖十代目一於奥州盛岡作之と号生国筑前信國一派と号筑後久留米移住一天和 多一正徳比 辛卯の年東武下り直奥州盛岡轉住一弟国義と号共業と号励む新藤平兵衛と号

元禄己卯 信安 ○二人 備州長船一と号應 安永和の同業物

○波平一と号薩州加州大聖持住一 谷山一派天正比 一と号享和比

信正 ○一人

○城州了戒一派二 和州手院一派二字 字銘と号貞和比 銘と号寛元比

○備前福岡文字一派二字銘と号銀元と文字と切延正と号 備 州 権三郎と号隱岐国於番鍛冶成長原権守と号と号貞應比

長船一と号或公政 出羽大塚一と号 尾州住一と号二代目信高 字と号切應安比 櫻州延宝天和比

信政 ○一人 備州長船一と号應 安辛丑の年号有信正同 清兵と号元禄の比

信房 ○三人 奥州岡部住二字銘と号 備前福岡文字一派 法華經太郎と号建長比 二字銘と号或信房

作と号切兼元中廿四人の内九月番と号定と号れ長原権 守と号と号久國と号共奉行と号俗信房延房と号唱

○備州長船一派二字 銘と号時代不明

信英 △一人 日向大塚一と号濃 州関一派貞享比

信照

尾州河村信高四代目と号六代目道家督前八 三之助信照と云四代目伯耆守信照と号物有

信秋 △一人 薩州住一と号鹿兒府田中国行 八代の孫田中市左門と号享保比

延

延家 ○二入 備前福岡一文字一泚二字、備州長船一と歩浅古當戸、藤原一と歩尾州、銘も延房の云建保比、(一)と出ると云兼能も歩應永比

延利 ○二入 薩州波平一泚二字、肥後同田貫、延近 ○二入 備州長船一と歩後、延房は改應仁の比、延依 ○二入

延吉 ○四入 平安城一〇了戒、和州平手院一泚字銘も歩吉、作とも歩永正の比、野郡瀧門住と大和瓜實と

延文 ○二入 尾州山田一泚二字、同二代、字銘も歩貞治比、目二字

延命 ○二入 羽州庄内住一、と歩元禄比と云、備中青江一泚二字中、備中片山一泚二字、字銘も歩弘安比

延生 ○二入 備前福岡一文字一泚、二字銘も歩貞應比、延國 ○二入 備前福岡一文字一泚二字銘も歩天

延安 ○二入 薩州波平一泚二字、銘も歩時代不明、延正 ○三入 備前福岡一文字一泚字銘も歩隱岐国ふ於く九十番定

延安 ○二入 備州長船一、備後国三原住一、と歩天正の比、延房 ○二入 備前福岡一文字一泚、二字銘も歩兼元中三

延清 ○二入 藤原住一、藤原一或二、同田貫一と歩肥、南都住藤原一と歩、字銘も歩和州金房一泚永禄比、後菊池元龜比、和州金房一泚寛永比

延貞 ○二入 備中国一作と歩青江一泚、貞和比同銘三代云未詳、延定 ○二入 二字、大銘

延光 ○三入 城州栗田一泚二字銘、ま歩藤原と号文保比、濃州蜂屋一泚字、ま歩藤原と号文安比業物

延秀 ○二入 城州大宮一泚二字銘、ま歩備前(後住と天福比、多一曆應比業物、延弘 ○二入

延行 ○二入 薩州住人一と歩赤川帶刀、左三門と号房安同人天正比、延久 ○二入 菊池住一と歩肥後延壽、国日出門宇兵と号文化比

延秀 ○二入 城州大宮一泚二字銘、ま歩備前(後住と天福比、多一曆應比業物、延弘 ○二入

延久 ○二入 菊池住一と歩肥後延壽、国日出門宇兵と号文化比、了戒一作と歩、豊前寛正比

延秀 ○二入 城州大宮一泚二字銘、ま歩備前(後住と天福比、多一曆應比業物、延弘 ○二入

延秀 ○二入 城州大宮一泚二字銘、ま歩備前(後住と天福比、多一曆應比業物、延弘 ○二入

延秀 ○二入 城州大宮一泚二字銘、ま歩備前(後住と天福比、多一曆應比業物、延弘 ○二入

宣

宣明 ○二入 肥後隈本住一と歩、同田貫一泚文禄比、宣貞 ○二入 肥後隈本住一〇大和守、薩州住一、藤原一と歩寛永比、と歩時代不明

宣屋 ○二入 濃州関住三阿弥入道一と歩、信州松本わくも造る寛文比、宣能 ○二入 了戒一作と歩豊、後文安文明の間、宣義 ○二入 濃州関住一と歩時代不明

宣明 ○二入 肥後隈本住一と歩、同田貫一泚文禄比、宣貞 ○二入 肥後隈本住一〇大和守、薩州住一、藤原一と歩寛永比、と歩時代不明

古今殿台備考

卷三

三五

古今殿台備考

江

陣堪

備後国尾道住其向 ○豐州住一と号高 ○薩州波平一と号高田住藤原
 弥一と号天文比 ○田一と号元龜天正比 ○字銘は時代不明 一と号寛文比
 と号城州後豊後へ移住一族 ○了戒一と号
 此地は第の應永比延文比と云 ○豊後文安比
 江平 ○一人 和州千手院一と号治比
 ノケ 信平同人と云是非不知

堪貞 ○一人 石州長濱住一
 ノケ 一と号元龜比

陣直 △一人 丹後田辺住寛文比と云
 参河守大道一と号

ク 國邦軍月

國

國家 ○二人 城州栗田口住林弥九郎と号二字銘は本国和
 △二人 州添上郡丹波市と云美元中番鍛冶の奉行なり
 越中宇津派二字 備州長船一と
 銘は時代不明 ○号後備中移住

を天 ○肥後延壽派二字銘 備中山内住越前大掾一
 文比 ○号国信男と云延文比 一と号水田一派天正慶長の間
 國治 ○二人 和州千手院派二字銘
 △二人 一と号千手住弘長比 一と号

肥後永正大 尾州住来一と号武五郎 奥州仙臺住二字銘は同国古川城主太衡将監
 永比業物 一と号東武と号造正徳比 の末裔太衡源太左門と号岩城又東武と号造元禄比
 國春 △一人 一と号祐春
 攝州住源一

院一派二字銘 越中宇津一派二 備前国住一と号長船 備州一と号 肥後延
 号貞享比 國友 ○九人 城州栗田口派二字銘は老後○藤林と号 國家男林藤左門と号 和州
 △二人 美元中六月番廿四人の時正月番と定くる當番の作上の文字と切 千手

院一派二字銘 越中宇津一派二 備前国住一と号長船 備州一と号 肥後延
 号貞享比 國友 ○九人 城州栗田口派二字銘は老後○藤林と号 國家男林藤左門と号 和州
 △二人 美元中六月番廿四人の時正月番と定くる當番の作上の文字と切 千手

國倫 ○一人 来一と号城州
 未一派文和比
 國儔 △二人 越後守藤原一と号生国日州飲肥一と号城州一条
 △二人 堀河住と信濃守国廣甥の慶長寛永の間良業

城州未国行男二字銘は弘長
 文永比世と号国俊と唱大業
 同代目来一と号未孫太郎一と号根本中堂来一と号老後○ 城州櫛
 源来一と号江州やと造る正應建武の間大業銘の事諸説多 筒住

一と号生国和州と号 了戒一と号城州
 孫太郎門正中比銘尤異り 應永比業物 自住来一と号未一と号 豊後二字銘は延壽
 一と号肥後延壽国日出 近江守源一と号 丹波元應比孫太郎門 一と号時代不明

男甲鉄之助と号文化比 一と号在所時代不明
 國年 ○二人 城州櫛筒国俊門康安比
 来一と号生国和州と云
 國歳 ○一人 城州未国俊門
 正和比○来一

一と号 備州長船派二字銘は
 ち 一と号正安比或弘長比 二字銘は打嘉禎の比 一と号弘長比 一と号在所時代

不 國時 ○二人 和州當一と号派二字
 △二人 備州長船一派二字
 銘は時代不明 ○肥後菊池住一或八二字大銘は 肥後
 明 一と号和州當一と号派二字 銘は時代不明 ○肥後菊池住一或八二字大銘は 菊池

住二字銘多一延 城州住一於南紀造之 肥州太寺一と云
壽二郎と号正比 堀河国廣門寛永比 肥後之寛文比

河内守一と云坂陽二代
目国助と初免の銘と云

國富 △三人 佐渡大掾藤原一 〇佐渡守藤原一 後佐渡守一 元喜〇源一 日向住人一 日向
師井上真改宅作と云 薩州住一と云奥国平 〇肥後之銘長州萩の住く東武又奥州雲州まも造る寛永万治の間 国住人一於攝府

師井上真改宅作と云 薩州住一と云奥国平 〇肥後之銘長州萩の住く東武又奥州雲州まも造る寛永万治の間 国住人一於攝府
國任 〇一人 河州二字銘と云時 代不明古くとも

〇肥後之銘長州萩の住く東武又奥州雲州まも造る寛永万治の間 国住人一於攝府
國虎 △三人 和泉守 藤原一

〇肥後之銘長州萩の住く東武又奥州雲州まも造る寛永万治の間 国住人一於攝府
國奥 △二人 攝州住一と云 延宝比と云

〇肥後之銘長州萩の住く東武又奥州雲州まも造る寛永万治の間 国住人一於攝府
國兼 〇三人 和州千手院 〇肥後延壽の末と云

〇肥後之銘長州萩の住く東武又奥州雲州まも造る寛永万治の間 国住人一於攝府
國包 〇二人 和州千手院 〇一泷二字銘と云

〇肥後之銘長州萩の住く東武又奥州雲州まも造る寛永万治の間 国住人一於攝府
國門 〇三人 和州千手院一泷二字銘と云 三州中原一泷二字 菊池住一と云天文比 〇肥後延壽の末と云

〇肥後之銘長州萩の住く東武又奥州雲州まも造る寛永万治の間 国住人一於攝府
國勝 〇二人 肥後住藤原一と云同田貫一 〇一泷二字銘と云

〇肥後之銘長州萩の住く東武又奥州雲州まも造る寛永万治の間 国住人一於攝府
國筭 〇一人 城州末一泷二字銘 〇一と云貞和比と云

〇肥後之銘長州萩の住く東武又奥州雲州まも造る寛永万治の間 国住人一於攝府
國 〇二人 〇一人

〇肥後之銘長州萩の住く東武又奥州雲州まも造る寛永万治の間 国住人一於攝府
國頼 〇二人 左馬尉源一と云城州粟 〇武州下原住 〇一と云天正

〇肥後之銘長州萩の住く東武又奥州雲州まも造る寛永万治の間 国住人一於攝府
國依 △二人 二字銘と云在所 〇不明寛永の比

〇肥後之銘長州萩の住く東武又奥州雲州まも造る寛永万治の間 国住人一於攝府
國吉 〇廿六 〇右兵尉藤原一と云〇二字銘多し 〇城州末の祖二字銘 〇一と云天正

〇肥後之銘長州萩の住く東武又奥州雲州まも造る寛永万治の間 国住人一於攝府
國依 △二人 二字銘と云在所 〇不明寛永の比

〇肥後之銘長州萩の住く東武又奥州雲州まも造る寛永万治の間 国住人一於攝府
國依 △二人 二字銘と云在所 〇不明寛永の比

〇肥後之銘長州萩の住く東武又奥州雲州まも造る寛永万治の間 国住人一於攝府
國依 △二人 二字銘と云在所 〇不明寛永の比

〇肥後之銘長州萩の住く東武又奥州雲州まも造る寛永万治の間 国住人一於攝府
國依 △二人 二字銘と云在所 〇不明寛永の比

郎父云云説来の性ハ 来一と云城州 金王丸一〇金丸一〇金王と云と和 同代目大和住一或云字 来目部より發せしと云 来一派應安比 州千手院一派嘉元比 〇若新と云同云云 銘云正中建武の間良業

茶王寺一〇中原一〇と云 宇多一と云 越後桃川住一 播州小川一派字 備前直六流云 〇三州中原一派文安比 〇越中永亨比 〇步應永比業物 〇銘云貞應比 〇長船一派二字銘云

〇藤兵五尉と号後蒙 〇備州住一或二字銘云備後 〇備州一と云備後三 〇但州住法成寺 〇勅号て雲次と改し事雲主の傳具 〇甚田派乘三原門嘉吉比 〇原一派文明比業物 〇一と云天正比

城の字云 〇筑州住一〇作と云 〇肥州菊池住一或二字銘云延壽五郎左 〇肥後国住一〇と云延壽一派 〇も云業物 〇西蓮同人云 〇門尉と号棟の閑際十文字と切建治正安の間 〇次郎と号應永比良業 〇

阿州西宇住一 〇豫州住一〇と云 〇豫州住一〇と云 〇讚州二字銘云或云 〇日州住一〇と云 〇と云延徳比 〇正應比照覚と号 〇と云永亨比 〇明應永正の間 〇越前と云と云正和比 〇步時代不明

平安城一〇伊勢守源一〇と云坂陽移住守勢 〇同代目和泉守一〇伊勢守一〇 〇伊勢守一〇 〇同三代目次助と号元禄比同四 〇州桑名と云造寛永比異名と念佛次郎兵五と唱 〇と云坂陽住次右門と号延宝比 〇代目善助と号元文比各造成の

物未 〇和州住越中守藤原一〇と云 〇長友作之兼一〇下總守 〇尾州住武五郎一〇 〇武州住法城寺橘一〇 〇近江守 〇見 〇郡山住と元禄比包国派と云 〇と云撰州の国義同人と云 〇と云元禄の比 〇法城寺一〇と云正次門弥兵五後

宅大夫と号貞 〇於東叡山麓藤原一〇と云東 〇濃州川戸住上野守壽命一〇 〇奥州波岡住相摸守橘一〇 〇步 〇享比業物 〇武山城守国重門安永寛政の間 〇と云後丹後守と傳住と寛文比 〇東武法城寺派の門傳右門と号

元禄 〇石州邑知郡高見 〇備後五日市住一〇と云水 〇延壽一〇と云肥後菊池住国 〇薩州住一〇と云 〇國善 〇一人 〇比 〇住一〇と云貞享比 〇田流吉左門と号享保比 〇信次男田中右郎と号享保比 〇国平門宝永比 〇一人

〇備州長船一派二 〇越後村松住一〇と云板 〇肥後菊池延壽一派字 〇菊池住一〇と云肥 〇字銘云寛元比 〇垣善右門と号享保比 〇銘云国綱門貞治比 〇後延壽の末天文の比 〇一人

〇國賀 〇二人 〇肥後菊池延壽一派字 〇菊池住一〇と云肥 〇銘云国綱門貞治比 〇後延壽の末天文の比 〇一人

〇國義 〇一人 〇高井豊後守源一〇と云城州初代信吉弟寛文 〇撰州住藤原一〇 〇下總守藤原一〇と云 〇の末着州小濱移住と江州彦根と云造る業物 〇初代和泉守国貞門鈴木作之丞と号後日

州飲肥移住と云長友 〇和田弾正忠源一〇と云坂陽井上彈右門国貞門後日 〇撰州住源一〇 〇備前守源一〇 〇作之丞国吉同人と云寛文比 〇州飲肥移住と享保比迄造ると云和泉守と任と云 〇と云代目河内守国助門平右工

門と号寛 〇奥州盛岡住新藤原一〇と云本国筑前福岡住祖九代信国の勇治郎共と号延宝中東 〇豊後 〇文の比 〇武下と南部家の刀匠と成俸禄と給と天和辛酉の年盛岡移住一〇元禄代寅の年卒一〇代目八義国へ 〇住一〇

と云寛 〇隅州住一〇と云妍川氏 〇和田駿河守平一〇と云寛文の年号有 〇國慶 〇一人 〇肥前国住佐々木平馬尉 〇文比 〇日州国富門と云元禄比 〇在所不知と云と云彈正忠と同名と云 〇於肥州唐津源一〇造

〇造延宝の比 〇と云長崎と云 〇國良 〇二人 〇豫州大洲住源一〇と云近江守 〇二字銘云寛 〇國代 〇一人 〇右門吉国二男根本 〇

〇と云四郎と号 〇國高 〇二人 〇越中宇多一派應永 〇延壽一〇と云肥後 〇撰州住一〇と云仁兵五 〇明和の比 〇長禄の間国高作と云 〇菊池住時代不明 〇と号延宝比業物 〇國隆 〇一人

山上播磨守藤原一と号豊後
森住坂陽中河内の門寛文比

國山 〇二八
備州長船一と号
字銘は弘長比
左派

國忠 〇二八
備州長船一と号
字銘は弘長比
左派

二字銘は永
亨比業物

國武 〇三八
平安城住藤原一〇三条一と号
堀河國廣門寛永比業物出雲大掾吉武の父

國綱 〇三八
城州栗田口國家
六男林藤六郎

河内門村田権兵衛と号始老上野守助包
薩州法城寺橋一と号根
と号貞享元禄の同業物吉沢氏とも云
元金右門吉國中比の銘あり

國綱 〇三八
城州栗田口國家
六男林藤六郎

城州栗田口國家
六男林藤六郎

と号二字銘多し隱岐國あり番鍛冶と奉左近將監を任せ老く藤六左近入道と号弘長比追存生すと云善明
と号事有〇北条氏の執権あり一時自鍛煉の枝が為さんと云も兼元の御鍛冶の遺風尚存すと時頼
代は當り旁く宇内の鍛冶と召く天下の良工
〇山内住藤原一と号城州栗田口一派吉正の流とて初免真
悉く鎌倉(羣集)と此時左近國綱と最弟と云

和州二字銘 左兵衛尉一と号 三州住一〇中京一〇或二字銘 遠州住一と号建長比藤
〇伊賀守住建長比 〇葉王寺一派永亨比業物 〇六國綱此所すの作と云

備前直宗流二字銘は三郎國宗の末男と云 備州長船一と号兼光門弥 豊後紀一派二字 肥後
太郎左門と号後信州善光寺の僧と成と云弘安比 五郎と号貞治比國宗と号 銘は文曆比 左衛
門尉一〇或二字銘は延壽 〇肥後延壽國友男二字銘は 菊池住一と号肥後延壽三郎四郎山城粟
一派延文貞治比繩の字あり 〇兵衛三郎四郎と号應安比 〇と号文明比或は應永の比と云 〇田住

源一と号初代 大坂住藤原一〇伊勢守藤原一と号 来一と号元和の年号有 羽州永居住一〇或ハ
忠綱門寛文比 〇笠家書は切ると有真改門天和の比 源頼貞卿の始の御銘と云 〇二字銘は國秀男享
和 相模守藤原一と号越前下坂 越前大掾藤原一と号向ひ雀と切 備中足守住一と号勝兵衛國
比 一派東武ありと造る寛文の比 越前下坂派東武移住と貞享比業物 〇重門水田五兵衛と号延安の比

豊州住人大和守平一と号作行平と号と云平安城 向州徳島住一と号薩州住一と号野村藤 横田作左三
備中山内とも造る繩の字あり切豊後寛永の比 〇と号時代不明 〇摩之丞と号時代不明 〇尉一と
お在所時 〇城州来一派来一〇来源一〇銘三位と号の長谷部来一と号國俊門 〇
代不明 〇三右門と号相州来一五郎正宗門と成故は鎌倉来と唱正和比盛造大業 〇

城州来一派二字 和州手搦一派二字 相州住一〇藤原朝臣一〇濃州山田関一派二字銘は國如此國を
銘は建武比 〇銘は親應比 〇一と号藤原左門と号水正比 〇字と切故は民國次と唱文明明應の國良
業 〇同代目二字銘は文字同 〇藤島一〇或二字銘は加州橋瓜一派 〇宇多一と号越中 〇備前青江
〇躰より少異永正亨禄の間 〇此族と加賀青江唱應仁比業物 〇宇津派應永比 〇一派二字銘

は建 左門尉藤原一〇或二字銘は 肥後菊池延壽一派二字銘は 〇紀州粉川一派二字銘は 〇如比國
永比 〇肥後延壽一派建武比良業 〇國末男頼母之助と号應安比 〇の字と号故は實戸國次と唱水
亨長 〇同代目二字銘は國の字 平安城菅原一 攝州藤原一〇武藏大掾一〇武藏守一と号初
禄間 〇躰異也明應永正の間 〇と号貞享比 〇代河内守國助三男小林左門と号初免攝州住國

〇同代目二字銘は國の字 平安城菅原一 攝州藤原一〇武藏大掾一〇武藏守一と号初
禄間 〇躰異也明應永正の間 〇と号貞享比 〇代河内守國助三男小林左門と号初免攝州住國

〇同代目二字銘は國の字 平安城菅原一 攝州藤原一〇武藏大掾一〇武藏守一と号初
禄間 〇躰異也明應永正の間 〇と号貞享比 〇代河内守國助三男小林左門と号初免攝州住國

〇同代目二字銘は國の字 平安城菅原一 攝州藤原一〇武藏大掾一〇武藏守一と号初
禄間 〇躰異也明應永正の間 〇と号貞享比 〇代河内守國助三男小林左門と号初免攝州住國

〇同代目二字銘は國の字 平安城菅原一 攝州藤原一〇武藏大掾一〇武藏守一と号初
禄間 〇躰異也明應永正の間 〇と号貞享比 〇代河内守國助三男小林左門と号初免攝州住國

〇同代目二字銘は國の字 平安城菅原一 攝州藤原一〇武藏大掾一〇武藏守一と号初
禄間 〇躰異也明應永正の間 〇と号貞享比 〇代河内守國助三男小林左門と号初免攝州住國

〇同代目二字銘は國の字 平安城菅原一 攝州藤原一〇武藏大掾一〇武藏守一と号初
禄間 〇躰異也明應永正の間 〇と号貞享比 〇代河内守國助三男小林左門と号初免攝州住國

光と寛文延 武州住来一と抄 河内守藤原一と抄 奥州名取住田代清貞 奥州仙臺住一と抄 大室の間業物 和国山国助同と云 東武と来一と云 寛永比と造 延宝比休鉄と改 友傳三郎と号 休鉄五代の孫と四代目安倫 同子大友惣十郎正徳享保比其次大友 奥州津押住一と抄 二代目丹後守兼道 山城大掾 元禄宝永の比 藤助七代目国包 宝曆比代共未聞 三之丞と号 東武と来一と造 享保比 藤原一

一と抄 越前福井下坂一派大和掾正則長男山田一郎兵衛と号 菊と切事有寛 同代目山城大掾藤原一と抄 菊と 永戊辰二月於京都叙法橋未一高鉄と号 翌己巳の年六拾五歳と没と業物 切同甚助と号 寛永己巳七月受領至 山城東武信州松代と云 同三代目山城大掾藤原一と抄 菊と切同七郎 相摸守藤原一と抄 越前福井下坂一派 造る万治比迄の作有 兵工と号 寛文辛丑九月受領東武と云 宇多三郎太夫と号 後東武移住一法城

寺一派ふへく相摸守 越前大掾藤原一と抄 越前松岡住之 後肥後熊本移住一博任一と抄 越前守一と 橘一と抄 元禄比業物 抄 老後 肥州之産法橋来一入道 壽徹と抄 於肥後とも抄 寛文比或ハ壽 徹ハ別人 越前仕高田一と抄 伊勢守藤原一と抄 越前松岡住権大夫と号 備中国住源一と抄 一文

とも云 東武移住と享保比 山城守国清 享保比数代有と云 未詳 字と切備後福山移住 之 寛文比の播磨守源 備後国福山住山城大掾源 肥前国住一と抄 山城守藤原一と抄 十六歳茶の重 一と抄 同人と云 一と抄 文字と切上同人と云 国廣 寛文比 菊と切肥後隈本住東武と云 造

延宝比壽 日向住人一と抄 姊川 薩州住藤原一と抄 和泉守一と抄 鉦元は鶴の丸と切越前大 徹の次也 国富 代目也 元禄の比 左左 正廣 後の銘 掾国綱と云 元禄の比 東武は住一と云

住下坂一と抄 洛陽移住一 國亞 日州綾部住 二字銘 抄 旅泊 〇平安城藤原一と抄 寛永比 國經 〇三 備前国一 一と抄 徳治

比 肥後延壽一派 二字 銘 抄 應安比 國常 〇三 上野守藤原一と抄 濃州岐阜 同二代目上野守藤原一と 抄 始免下野守藤原一と

抄 貞 賀州住吉兵工尉 享比 一と抄 時代不明 國恒 〇二 出羽大掾藤原一と抄 越前下坂一派 始免 比 二字銘 抄 孫太郎と号 城州未一派 未一と抄 南朝の正平比の年号と 同二代目未一と抄 備 一本千貫太郎と有 寛元比 抄 物多 櫻州中島と住と故 中島末と唱 州長船と造る物ハ

〇藤原一と抄 淡州 同三代目未一と抄 京都住入管原一と抄 城州 和州千手院一派 造る 〇永徳比 銘 小振と永亨比 長吉一派 貞治 應安の間業物 二字銘 抄 元暦比 濃州赤坂千手院一派 二字銘 抄 道印と号 正應の比 正和 抄 文保の比 文和比 作と抄 康應の年号と切 字銘 抄 延慶比 嚴 淨と云 能州笠師住一と抄 宇多一と抄 備州長船一派 豫州住藤原一と抄 生国 同人と云 宇津と同人と云 越中文明比 字銘 抄 正應比 州赤坂千手院一派 康暦の比

國繼 〇三 和州 二字銘 抄 豊後紀一派 二字 肥後菊池住一と抄 攝州住一と抄 神刀九 越 〇二 抄 宝治比 銘 抄 正應比 延壽の末天文比 有續 始免の銘 前

住下坂一と抄 洛陽移住一 國亞 日州綾部住 二字銘 抄 旅泊 〇平安城藤原一と抄 寛永比 國經 〇三 備前国一 一と抄 徳治

比 肥後延壽一派 二字 銘 抄 應安比 國常 〇三 上野守藤原一と抄 濃州岐阜 同二代目上野守藤原一と 抄 始免下野守藤原一と

抄 貞 賀州住吉兵工尉 享比 一と抄 時代不明 國恒 〇二 出羽大掾藤原一と抄 越前下坂一派 始免 比 二字銘 抄 孫太郎と号 城州未一派 未一と抄 南朝の正平比の年号と 同二代目未一と抄 備 一本千貫太郎と有 寛元比 抄 物多 櫻州中島と住と故 中島末と唱 州長船と造る物ハ

〇藤原一と抄 淡州 同三代目未一と抄 京都住入管原一と抄 城州 和州千手院一派 造る 〇永徳比 銘 小振と永亨比 長吉一派 貞治 應安の間業物 二字銘 抄 元暦比 濃州赤坂千手院一派 二字銘 抄 道印と号 正應の比 正和 抄 文保の比 文和比 作と抄 康應の年号と切 字銘 抄 延慶比 嚴 淨と云 能州笠師住一と抄 宇多一と抄 備州長船一派 豫州住藤原一と抄 生国 同人と云 宇津と同人と云 越中文明比 字銘 抄 正應比 州赤坂千手院一派 康暦の比

〇藤原一と抄 淡州 同三代目未一と抄 京都住入管原一と抄 城州 和州千手院一派 造る 〇永徳比 銘 小振と永亨比 長吉一派 貞治 應安の間業物 二字銘 抄 元暦比 濃州赤坂千手院一派 二字銘 抄 道印と号 正應の比 正和 抄 文保の比 文和比 作と抄 康應の年号と切 字銘 抄 延慶比 嚴 淨と云 能州笠師住一と抄 宇多一と抄 備州長船一派 豫州住藤原一と抄 生国 同人と云 宇津と同人と云 越中文明比 字銘 抄 正應比 州赤坂千手院一派 康暦の比

〇藤原一と抄 淡州 同三代目未一と抄 京都住入管原一と抄 城州 和州千手院一派 造る 〇永徳比 銘 小振と永亨比 長吉一派 貞治 應安の間業物 二字銘 抄 元暦比 濃州赤坂千手院一派 二字銘 抄 道印と号 正應の比 正和 抄 文保の比 文和比 作と抄 康應の年号と切 字銘 抄 延慶比 嚴 淨と云 能州笠師住一と抄 宇多一と抄 備州長船一派 豫州住藤原一と抄 生国 同人と云 宇津と同人と云 越中文明比 字銘 抄 正應比 州赤坂千手院一派 康暦の比

〇藤原一と抄 淡州 同三代目未一と抄 京都住入管原一と抄 城州 和州千手院一派 造る 〇永徳比 銘 小振と永亨比 長吉一派 貞治 應安の間業物 二字銘 抄 元暦比 濃州赤坂千手院一派 二字銘 抄 道印と号 正應の比 正和 抄 文保の比 文和比 作と抄 康應の年号と切 字銘 抄 延慶比 嚴 淨と云 能州笠師住一と抄 宇多一と抄 備州長船一派 豫州住藤原一と抄 生国 同人と云 宇津と同人と云 越中文明比 字銘 抄 正應比 州赤坂千手院一派 康暦の比

字銘よ赤国 山城大塚一と武州水田一派与左五門国定男 奥州盛岡住源一と赤新藤平 菊池住延寿 村口徳治比 大月左門と号備中備後越後等と造る元禄比 兵工と号信国二代の孫之元禄比 一と赤肥後

菊池延寿国守赤代の孫田中公左五門初先生 茂と赤天明中国信を改む文化甲子六十四歳 備前国住一或二 字銘よ赤時代不明

備中片山一派二字 備中国住一と赤松山 与州住一と 赤永亨比 城州住橘一 国徳作 与州宇智住 与赤堀川一 派寛永比 一と赤源次郎

と号寛 国法 二八と赤延宝比 攝州住源一 平安城住一 国安 〇二八 城州粟田一 派二字銘多一 永比 二八と赤延宝比 国藏 二八と赤寛永比 城州粟田一 派二字銘多一 国家の三男林藤三郎と号

兼元中廿四の内四月番を定むれ山城守は任と當番の時必 城州来一 派来一と赤伯州等と造る後淡州二五崎 〇上字と赤林三と赤と云播州中一 〇如此切と云秘銘を云 移住一 老後淡路房と赤建武比淡路末と唱ふ

和州高市住一 〇末一と赤 越州末一 或二 字銘よ赤銘千代鶴と切物多一 本国城州末国安一 〇同二 〇如此赤應永永亨比 〇初光忠切本姓藤原越前末と唱千代雀丸と号貞治明德の間 〇代目

越州住一 或二 字 宇多一と赤越中康 同国宇多一 備前直宗流二字銘よ赤後相 〇但州住一 銘よ赤應永永亨比 安比初免国房と赤 〇と赤永亨比 〇州内移住と四郎と号建治比 〇と赤法城寺

一派貞 〇豊後州住一 〇肥州菊池住一と赤肥後延寿一 〇土州宇佐郷一 〇城州堀河住二字銘よ赤同所 治比 〇と赤文明比 〇派時末男刑部と号永徳應永比 〇一と赤應永比 〇国廣の弟と云慶長寛永の

同生国日州飲肥初 遠州横須賀住一 作と赤中塚初藏と号と水心 奥州會津住一と赤同国初代 越前国 免国改と赤大業 子正秀初免三秀と切文化甲子改名東武の住一 兼定門清太郎と号元和比 住一と

赤時代 大明京一と赤雲州住 不明 〇三代目高麗弥九郎と号 〇末一と赤城州 〇相州山内一派二字銘よ赤国光三更新 〇肥州一 作 〇南無天神一 或二 字銘よ 菊池住一と赤肥 〇肥後守一と赤撰州初

云 〇肥州一 作 〇南無天神一 或二 字銘よ 菊池住一と赤肥 〇肥後守一と赤撰州初 〇赤延寿一派延元比の年号赤物多 〇後延寿一派永亨比 〇代国助三男小林源左工

〇号坂陽住と方 〇同代目肥後守一 〇裏以南蜜鉄作之と赤物多 〇越前住伊勢大塚藤原一 〇山本 治延宝の間太業 〇小林安之丞と号東武等と造天和元禄の間 〇伊勢守一と赤寛文延寶比 〇山本

肥後大塚一と赤伊勢守 〇出羽守藤原一 〇和州包永末業と赤本国 〇武藏住文珠藤 国康の初免の銘と云 〇和州奈良後東武住と延宝比包保門と云 〇原一 或二 字銘

よ赤貞亨元禄 〇国正 〇七八 〇字多一と赤越中永 〇備後国三原住 〇三原一 作と赤 〇肥州住 〇比二代目と云 〇京比政の字よ切 〇一と赤應永比 〇備後永正比 〇一と赤

延寿一派 〇肥後菊池住一と赤延 〇豫州住一と赤 〇武州住二字銘よ赤但州法城 〇正中比 〇寿一派應安の比良業 〇延文の比業物 〇明德應永比 〇寺国光の後裔甚之丞と号

葵 御紋と鉏元と 〇同代目二字銘よ赤甚 〇同三代目二字銘よ赤源兵工 〇同四代目二字銘よ赤藤五郎 〇同五代 赤元禄比業物 〇之丞と号寶永比 〇と号享保中藤原姓を改 〇と号元文比始免光正と赤 〇目二字

〇同三代目二字銘よ赤甚 〇同三代目二字銘よ赤源兵工 〇同四代目二字銘よ赤藤五郎 〇同五代 赤元禄比業物 〇之丞と号寶永比 〇と号享保中藤原姓を改 〇と号元文比始免光正と赤 〇目二字

銘抄同六代目二字銘抄法城寺但馬守橘一抄近江守源一抄奥州中村住文右門抄豊後明和比源兵工抄号文化比東武住と元禄比甚之丞と別号東武出秀辰門成元禄の比業物竹田

住法城寺一抄八兵同二代目豊後国住一抄駿河守藤原一抄与州宇和嶋住市同二代目衛と号貞亨比業物法城寺十大夫と号享保比兵工号東武出安定門成寛永比藤原

一抄市右門号貞亨比与州今治住一抄芥以下代相續と未詳友次と号水心門文化比國政一人肥州住一抄肥後菊池延壽一派正壽男権左門尉と号文亀永正の比

國改

一人一条堀川住一抄堀川国安壯年の銘

國昌

一人日州綾住一抄或八田中旅泊菴一抄裏旅泊一作と

抄肥後隈本刀國益一人与州住一抄上野大塚一抄土州高知刀匠木村平右門号延宝甲匠天明享和比寅の年と山口氏改本國撰州大坂と二代目丹波の門後土

州吉国養國増一人濃州岐阜住一抄高橋物助と号播州姫子と成路住義国養子と成宝永比始免重辨と切國舛一人撰州住一抄寛文比重辨と八別人と云

國房

一人城州素一派二字銘抄越中宇津一派二字銘抄同二代目宇多一抄多一抄應仁一備州長船住一備後国住一抄平戸左門尉一抄肥前本

比業物一抄應永比三原一派永正比國筑前左門貞和比平戸左と唱派一字銘抄兵三郎国綱門八郎と豫州新一石見守藤原一抄豫同二代目筑後大塚藤原一抄筑後守一抄坂郎永と比業物州宇和島刀匠豊州高田鎮政門寛永比陽出初代大和守吉道門成寛文比始免国林と切代目筑後守一抄小市と号薩州住藤原一城州住橘相模守藤原一抄撰一竿子忠綱門貞亨元禄比一抄時代不明州二代目丹波門初免吉

重中比道維と切源と抄前の作と抄後与州今治移住寛文比國英一人隼之進一抄小林河内守源一抄雲州松江刀匠

國輝一人小林伊勢守一伊勢守一抄坂陽初代河内守国助の四男隼之進と号寛文辛夷の年受領伊勢大塚と抄同壬子の春守と傳任と貞亨中と中心の形幣と模と押形の如く元禄

丁丑比阿州椿泊と於と造出羽大塚藤原一和泉大塚藤原一裏豫州松山住と抄物と三好太郎兵

物有正徳比迄存生と業物と抄撰州住延宝比一工と号藤四郎長国門初免長清と抄寛文の始免受領と時改一同二代目和泉守藤原一抄同五郎右門号本國撰州大坂の住小林国輝一同三代目和泉大塚藤

名一陸奥守輝政と抄元禄中豫州松山移住一太郎空国輝の家名と継と改名一原一抄同藤四郎

号幼年の時父と後れ坂陽出小同四代目豫州松山住藤原一抄同藤四郎と号原一抄同在右門と

林国輝と許と修行と正徳比洛陽二代目久道門元文比此代と受領一原一抄同在右門と

号初免長次と抄明國照一人伯耆大塚橘一抄武州法薩州住法城寺橘一抄金右工

和比迄の作と以下未詳城寺一派延宝の比業物一吉国男根元平八号室曆の比

國明 ○二人 末一と赤城 肥後菊池住一と赤 奥州會津住一と赤村 田織藏と号享和比 延壽の末天文の比 國有 ○一人 二字銘 赤在

所時代不明 國定 ○二人 城州栗田口一派二字銘は赤中次郎と号後 赤一と赤城州未 宇多 古く見ゆ 丹波綾部住と弘安比以下三代有と云 赤一と赤城州未 赤一と赤城州未 赤一と赤城州未

赤越中 備州長船一或二 兵工尉一或二 赤一と赤城州未 赤一と赤城州未 赤一と赤城州未 赤一と赤城州未 赤一と赤城州未 赤一と赤城州未 赤一と赤城州未 赤一と赤城州未 赤一と赤城州未 赤一と赤城州未

正保乙酉の年より俸禄を受く 同二代目三郎多古川孫太 越州住一と赤 越前大掾源一と赤備中 寛文の末年没と業物 夫と号元禄己巳の年没業物 越前寛永比 水田一派八郎左の門大月左

次兵工と号撰州富田備 同二代目越前大掾源一と赤大月平九郎後と与左工門改 同三代目源一 後福山わくも造る寛文比 鉦元と牡丹菊と切東武又備前わくも造る貞享元禄比 一と赤備前

住と大月与五郎 同四代目備前国住源一 國貞 ○八人 城州住一と 大和国住一と 越中 一と号享保の比 一と赤大月左と号元文比 赤文禄比 赤時代不明 赤津

一派二字銘 備前直宗流二字銘は赤 備州長船一と赤定 豊州住兵工尉一と 肥後 赤應永比 次郎と号国真弟兼久比 赤一と赤城州未 赤一と赤城州未 赤一と赤城州未 赤一と赤城州未 赤一と赤城州未

延壽一派二字銘 豫州住一と 撰州住藤原一と 和泉掾藤原一と 和泉守藤原一と 於大坂和 赤国資男明德比 赤建武の比 泉守藤原一と 和泉守一と 赤本国日州飲肥わくも洛陽へ出

堀川国廣一と成後と坂陽移住と 同二代目和泉守一と 井上和泉守一と 赤本国日州飲肥の武夫と 慶長慶安の間法名道知と号大業 云坂陽移住と道回国貞の養子と成明暦万治比五字銘は赤

鉦元と菊と切菊の中 如此寛文五年比より井上の苗字と切花の中 如國寛文十一年の末より花々 中又始免のしく切裏銘は寛文五六年より艸書は赤寛文十二年より井上貞改は改む実名良

明と号熊沢先生の門下 同三代目和泉守一と 井上和泉守一と 赤真改次男 但馬守橘一と 書籍と好むと云 弾右工門と号元禄比の作多 後日州飲肥移住 武夫と号と赤東武住法

城寺次郎左工 奥州會津住一と 赤古川孫大夫と号 同二代目奥州會津住一と 赤同次 同三代目奥州會 門と号元禄比 寛文の中比より定の字を改む業物 郎兵衛後孫太夫と号元禄丁五十月没 津住一と 赤同

三太夫と号後 備中成羽村住水 隅州住一と 赤薩州国平門 國實 ○二人 城州栗田口一派二字銘は 赤後三条と住と國友

門と云安 丹波布次住一或二 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城

郎と号本國 越中宇津一派二 丹波布次住藤八郎一或二 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城

字銘は赤推 同二代目二字銘は赤太郎と号兼元比 備中水田住一 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城 赤一と赤城

國清 ○七八
△九人

○城州栗田二派二字銘は、本國家四男林藤四郎後四郎
○兵士と号城州九条岡の辻江州鎌田のくも造正治比
○左近国綱門弘安比

和州住一と号千

○和州當一一派二

○越中宇津一派二

○備中住一と号水

○肥州菊池住一と

手院一派文保比

○字銘は、貞治比

○字銘は、正長比

○田一派天文比と云

○お延壽国次男右

馬之九と

○常陸国北条住吉左

○山城大掾藤原一と号越前福井刀匠堀川国廣の
号應安比
○門尉一と号享保比
○日本国信州松代住寫田彦八助宗の嫡男同吉右門助宗と号寛永

丁卯の年山城大掾は任

後守は轉と先祖菊一文字の例と
同代目山城守藤原一と号鈕元菊一文字
のく鈕元菊一文字と切枝菊と切の物有慶長比り造業物
と切同吉左門と号洛陽とくも造寛文の比

同代目山城守藤原一と号同菊と切

同代目山城大掾藤原一と号山城守藤原一と号山城守藤原一と号入道
吉立郎後市左門と号寛文中早世と
○真新兵左尉作と号物有同新兵と号寛文辛夷の年受領菊一と切

業、同代目山城守藤原一と号同九八郎と号始多助宗中比

伊勢守藤原一と号越前吉田郡
物、国宗と号菊一と切享保比以後数代有とくも未詳
○松岡住と云国次同人も云り

越中国藤原一と号播磨

薩州住法城寺一と号根

國行 ○五六
△三人

○未一或二字銘は、城州来
の祖国吉男西岡住と建長

比来の字と号物老成の作

○来一と号城州住初
○了戒一作と号城
○當一と号和州當
と云説建仁元年生とく
○免末行と号文和比
○州住明應の比
○一派兵左尉と号正應の比

守は任はと号時代不明

○元金石右門吉国の末の銘

國之 ○一人

○相州住一或二字銘は、本國備前福
岡文字の流と相州山内移る正應比

當一と号

○和州當一一派二字銘は、

○濃州赤坂千手院一派二

○同代目二字銘は、左五門二郎と号

歩良業

○或ハ當一と号と号正中比

○字銘は、貞治比業物

○後信州移り又越中(稜住)と号

津国久門と

○越州住藤原一或ハ国行作と

○備前福岡一文字一派二字銘は、或ハ豊原

○備前豊原

成應永比

○お越前へ貞治應安之間

○万壽長○豊原と号と号正應正和の間

○住左五門住

と号二字銘

○備中国住一と号

○菊池一と号肥後

○豊後府内住大和掾藤原一○豊後國住

よ歩康曆比

○水田一派天文の比

○延壽一派永徳比

○大和守藤原一と号高田一派寛文比業物

日州住源一と号飲肥の刀匠日

薩州住一と号田中

國之 ○一人

○相州住一或二字銘は、本國備前福
岡文字の流と相州山内移る正應比

高治助と号真改門兼享保比

休右門と号時代不明

國之 ○一人

○相州住一或二字銘は、本國備前福
岡文字の流と相州山内移る正應比

國進 ○一人

○肥州住一と号肥前散

國幸 △二人

○攝州尼崎住藤原一○攝州住一○柱本住藤原

國光 ○九人

○粟田五兵衛尉一或二字銘は、

○来一山老後○来源一と号城州末國俊門或

同二代目来一

○大和住一或二字銘は、高市住保昌五郎

○濃州赤坂千手院一派

と号文和比

○と号後貞光又貞宗は改めると云弘長比

○二字銘は、貞治比

○三州住一

原一派時

○新藤五一の相模国鎌倉住長谷部一○鎌倉住新藤五一法名光心○新藤五一法師

代不明

○作或ハ二字銘は、相州鎌倉山内住と本國城州栗田口國綱の男幼年やうく父の後

備前三郎國宗相州二下向の時門人と成 ○相州住一或二字銘は新藤太郎 宇多一とち越

と云長谷部八新藤五姓と云永仁和の間 ○國重後の銘は元應建武の比 ○中宇津古入道と

唱ふるもの是也本國和 ○宇多一とち越中 ○来一とち丹波畠住國俊の弟進士太郎と号頼

州宇多郡の人文保比 ○宇津派應永の比 ○正とちも同人と云元亨文和の間城州の二代目國

光同人 ○但州住一○室庄住一○室郡住一○隼人正一ともち但馬 ○同二代目但州住集

とも云 ○朝来郡法城寺の祖相州貞宗門長刀名人名人貞治の比大業 ○人助一とち景安

又國安ともちと云 ○作州住二字銘は本國筑前左の安吉弟と云 ○備州長船一とち

應永の比良業 ○藝州鳥濱移住一後作州一轉居を延文比 ○次光門文明の比 ○原住一

一作とち ○豊後國住人一とち本 ○菊池住一或二字銘は肥後 ○豫州住一とち 栗田口

大永比 ○國豊前宇佐貞治比 ○延壽一派國村門六郎と号應永比 ○長亨比と云 ○源来一

一○未源一ともち ○山城國住人二村左近源一 ○山城住藤原一作とち大 ○攝州住一とち武藏守 ○撰津

城州寛文延宝比 ○一とち歳長一族延宝比 ○銘の物多 ○元祿正徳の間 ○國次初の銘は業物 ○國天

満住一作とち本國備中在原水田一派 ○勢州三重郡伊勢守一○日本鍛 ○武藏住水田一とち本國備

大月安左エ門と号後東武移住と寛文比 ○治宗近来一ともち延宝比と云 ○中在原三郎兵衛國重門

大目左兵衛國重の後 ○江戸住水田一とち天 ○法城寺橋一○橋一ともち 裏越前住と

の銘は慶安寛文の間 ○満水田同人國重ともち ○ち物多 ○助右エ門と号東武住を貞亨比 ○國路

出羽大掾藤原素一とち城州 ○同二代目出羽大掾藤原一とち ○國道 ○出羽大掾藤原一とち

堀川國廣門元和寛永の間業物 ○東武少くも造る寛文天和の間 ○國道 ○出羽大掾藤原一とち

山城守源一とち豫州吉田住一土佐國住一とち久國嫡流と云 ○日州住川崎一とち飲肥の ○國重

洛陽おも遺菊切時代不明 ○木村冬太郎と号水字正秀門寛政比 ○國平末彦三郎と号享保比 ○國重

長谷部一とち城州五条坊門猪熊住一長兵衛と号本國和州千手院一派一とち相州下アヤ

郎正宗門と成長谷部八師の姓を授けて氏をかへしそのれ正中比 ○國 如此チタル物ニ國 如此チタル物

同二代目長谷部一 ○同三代目長谷部一 ○長谷部六郎左衛門一 ○相州山内住二字銘は新藤

ち初免國信と切貞和比 ○とち攝州天王寺又伊丹少くも造る應永比 ○五の長男新藤太郎と号後

國光改正 ○武州下原一派二字 ○濃州赤坂千手院一派二字 ○越前清泉寺住一 ○宇多一

和比と云 ○銘は長亨比 ○銘は孫左エ門と号建武比 ○とち應永嘉吉の間 ○ち越中

亨比 ○上野住一とち越後と云 ○備州長船一とち本國 ○備中國在原住一 ○備中國井

業物 ○造長谷部門應永比 ○和州住新太夫と号文和比 ○左エ門尉一 ○辰房一 ○裏備中在

原住ともち河野与太郎為家の子と云初免与八郎と号別家一と云大月三郎左エ門と改 ○備中

松山水田の祖と云亨祿天文の間辰房三原の祿之按は為家門少く生國八備後ある ○山住左

兵工尉一とち永祿天正の間一本 ○備中井原住拾助一とち ○備中後月郡在原住大月又三

水田村は康安比と鍛冶居住比云 ○水田一派天正比慶長に至る ○郎一とち元龜天正比業物

鍛冶備考 卷三 三六

豊後州住人... 肥後延寿一派二字銘... 肥後延寿の末二山城國水田... 備中備中寛文比

攝州住... 池田鬼神九... 鬼神九... 本國備中水田... 武州住... 助門池田住... 故云氏とす云寛文天和の同一本東武奥の岩城羽州秋田薩州... 造る云業物

原一派山本市右門... 但馬守藤原... 東武下原一派... 江戸住水田源... 大月太兵工と号... 水号時代不明業物... 山本左門後外記と号元禄比業物... 享保の末蒙... 台命造... 有... 田

住源... 東武住大月... 山城守藤原... 東武下谷住... 平安城の吉廣末... 同二代目山城守藤傳五郎と号享保元文比... 孫... 武藏太郎... 後道... 一虎と号寛延明和の間... 原... 歩明和

安永... 賀州住... 辻村五代目兼若嫡女の... 雲州松江住... 高麗治... 石州住... 水田一比... 子四郎三郎と号と元禄享保の間... 兵衛と号と大明京同人也... 派大月六太夫と号元

禄... 播州住... 津田... 多田八郎兵衛尉... 播州住高橋喜左門尉... 歩関の比... 姫路住半兵衛と号寛文比... 路住宗重二族貞享元禄比... 流く明石住吉重男初免吉重と号元

比... 備中国水田住... 左兵衛... 同二代目大与五... 三郎兵衛長男大... 同三代目備中国住大月勝比... 男大月三郎兵衛と号慶長比... 月与五郎と号有明と唱寛永の比良業... 兵衛... 寛文比業物

山城大掾源... 備中水田三郎兵衛次男初免市藏後... 山城大掾源... 細キ銘... 備中水田一派大月備八郎左門と号東武... 造る寛永寛文之間業物... 傳七郎と号作州津山... 造る貞享享保の間... 中

國水田住... 三郎兵衛大月左兵衛... 備中水田住... 八郎左の門大月... 備中水田住... 三郎兵衛門衛と号東武... 改明曆の比... 喜兵衛と号寛文比左兵衛國光と云... 大月市兵衛と号寛文比

備中国水田住大月治右門... 備中井原住水田... 備中荏原住大月... 備中国水田住茂右衛門尉... 一と号市兵衛寛文比... 大月太兵衛と号貞享比... 清八と号元和比... 備前岡山住... 八郎左の門寛文... 備中国水田住... 大月又七... 同二代目備中国水田大月八郎左... 備中国源... 歩

延宝比... 後八郎兵衛と号元禄宝永比... 歩後の八郎左門と唱... 正徳享保比... 水田一派大月八郎と号享保... 水田住大又太郎橘... 備中国住大月新重郎... 同二代目備中国住人五右衛門保比... 中時代不明の字不亦也... 代三郎兵衛後阿州移住を方治比... 一と号水田一派備後福

山阿州... 備中水田住... 八郎左の門大月善右門... 備後福山住水田... 備州三好住... 造る延宝比... 号讚州高松移住... 子孫此地... 寛文比... 一と号五右門の子大月傳右門と号元

禄... 豊後住水田... 肥前住源... 同田貫... 肥後隈本... 日州住... 太夫と号慶長比比... 本國備中時代不明... 佐賀住貞享子の比... 住國日出門享和文化比... 大

國繁... 石州邑智郡井原住... 國茂... 奥州涌谷住... 二代目國包... 初免包重と号寛文比涌谷... 訓

國弘... 石州邑智郡井原住... 國繁... 石州邑智郡井原住... 國茂... 奥州涌谷住... 二代目國包... 初免包重と号寛文比涌谷... 訓

平安城... 城州粟田... 二字銘... 左近... 大和国住... 歩千... 山内... 相州藤源治... 江間藤源治

の字の... 應安比... 國綱... 後加洲住... 寛喜比... 手院一派應永の比... 源治... 江間藤源治

夫と号廣の字也切 宇多一と号越中 備州長船一と号 藝州住二字銘も本國筑
徳治比目同と号 應永嘉吉比業物 廣直門應永の比 前定行男と云康永比安
藝の左 筑州息濱住一 筑前国住一 筑州住一作 摂州住一 貞享比自信 國廣 四人
と唱ふ とも左一門延文比南朝の年号物多一良業 濃守四代國廣と号る者貞今

○城州末一派一字銘 長谷部一 鎌倉住人 或二字銘も銘鎌倉住人と号るも有 長谷部一と
よ歩時代不明 相州新藤五の次男新藤次郎と号正中建武比の作後園光と改む ち永言の年

号と切末一派の国 肥後国同田貫上野次 城州一条堀川住信濃守藤原一 洛陽一条住信濃守藤原一
廣同人と云 一と号天文天正の間 とも種々の銘有日州住信濃守一とも本國日州飲肥一とも同州宮

崎小ても造る埋忠明寿の門受領の後天正の末年故りい 野州足利学校に寓居 此所ふの作し有帰洛後
石田三成の招よいて江州佐和山やと造る高麗征伐の時金山海の漆よ於て造成の物り帰朝後又洛陽に侍

是新刀鍛刀の祖 自信濃守四代目一と号摂州住 武州住一之作 奥州中村住一 源一 或二字銘
慶長は作多太業 洛陽少と造る貞享比國弘言允 とも号延宝比 とも号尾州二代目信高 三善勤七と

号寛 同二代目源末一 於武州源一 作とも三善と号 山城守藤原一と号鉦元 菊或ハ葵の葉と
文比 同東武兼一丹後守兼道一と成元禄比二字銘も有 切越前福井下坂一派寛文延宝の比業物

和泉守藤原一と号越前 豊後國古国府住源一 豊後岩下住 肥前国住一と号相右工門廣貞
下坂一派寛文比因幡守とも号 源一と号城州少と造る文禄慶長比 男兼廣の父橋本六郎左工門と号

正保慶安 豫州松山住一 國寛 二人 国寛作と号東武 住貞享元禄比 越後幕下キ一 作 裏
比業物 とも号時代不明 國久 六人 城州粟田口一派 藤兵工尉一 或二字銘 来一と号城

國博 三人 越後幕下キ一 作 裏 五枚と号大村加下の別銘と
國博作と号越前下坂一 派東武少と造る元禄比 とも号有国流と初免又五郎と号弘安比 州住右馬允と

号信濃小路に住と正 宇多一と号越中應永永 備中国住一と号ヒ 肥州高来住一 作と号肥前
慶比久光同と云非 亨の間二代有ととも未詳 カキ釘時代不明 城戸治部少輔と号天文元

龜の 豫州住一と号国 撰津住源一と号二代目 奥州若林住一と号二代目 友山入道一と号
間 益流應永の比 伊勢守國吉貞享比 国包一寛文延宝比業物 在所時代不明 國秀 五人

城州粟田口一派 二字銘も号国 来一と号城州住鎌倉来 越前府中住一と号越 備前国住一 或
吉男左近太郎と号嘉元比 国次一彦太郎と号正中比 中の宇津一派應仁比 二字銘も号備中

片山移住 備中青江一派 奥州二本松住一と号古山東藏と号 羽州永居住一と号加藤 肥後国延寿国
も貞治比 字銘も貞應比 東武も住と水字正秀の後宗次と改 勘郎と号水字一享比 村末孫一と

号国信男田中寿助と号初免 國出 二人 東肥一と号田中国 長谷部一と号城州
国延と切水心子一後国日出と号 猪熊住と初代国重

門建 千菓一と号奥州 宇多一と号越中 摂州住藤原一 藤原一と号真改 河崎作
武比 頼安同人文和比と云 文安比と云業物 兵衛と号後日州飲肥 移住と号義の父寛文

國平 三人 長谷部一と号城州 猪熊住と初代国重

武比 頼安同人文和比と云 文安比と云業物 兵衛と号後日州飲肥 移住と号義の父寛文

武比 頼安同人文和比と云 文安比と云業物 兵衛と号後日州飲肥 移住と号義の父寛文

武比 頼安同人文和比と云 文安比と云業物 兵衛と号後日州飲肥 移住と号義の父寛文

武比 頼安同人文和比と云 文安比と云業物 兵衛と号後日州飲肥 移住と号義の父寛文

武比 頼安同人文和比と云 文安比と云業物 兵衛と号後日州飲肥 移住と号義の父寛文

武比 頼安同人文和比と云 文安比と云業物 兵衛と号後日州飲肥 移住と号義の父寛文

古今段拾備考

卷三

三六

國廣

正徳の間 加州藤原一と号陀羅尼一泚松戸 豊後府内住山城大掾藤原一と号 薩摩国住一 業物 吉兵衛と号家弘父貞享室永の間 高田住と号初免義行と切寛文の比 〇奥太郎藤原

一と号奥次郎左工門後物惣兵衛と号初免忠金中比包善と号切奥忠清の従弟一と号則ち門人 也後惣左工門正房一と成元禄宝曆の間七十有余歳迄造る業物享保中正清安代関東へ 召れ

時国平老功の者あれを後 見の心得ゆく附副出府と云 〇城州栗田口一泚二字銘と号久四郎 三州住中原一と 号正應比一説建武比と云 〇三州住中原一と 号正應比国盛同

人 〇山内一と号相州藤源治 宇多一と号 備前一と号二 〇肥州一と号肥後延寿一泚 云 〇流梅藤太と号正慶比 越中永亨比 〇字銘と号正應比 〇國政男左兵衛尉と号大永比

〇薩州波平一泚二字 大和守藤原一と号 岩崎孫助尉藤原一と号紀州田辺 〇銘と号文曆比 濃州関一泚寛永比 住勢州津と号造る寛永義應の間 〇國盛 〇二入 〇一入

三州一と号中原と号斗也同 〇備前大宮物の祖二字銘と号本國城州 濃州関住一 〇中原平三郎と号應永比 猪熊大宮弥六国威の孫と文應比 〇と号国守同人 〇國森 〇二入 〇宇多

〇相州住一と号 〇豫州住一と号宇和島 〇國元 〇二入 〇一入 〇肥州菊池住一 〇大永亨禄の間 〇初代の国房始免の銘 〇と号延寿國安男

文太夫と号永 武藏守藤原一 〇國本 〇二入 〇豫州住人一 〇と号應安比 〇國季 〇二入 〇城州栗田口一泚二字 〇と号攝州天和の比 〇と号應安比 〇銘と号弘安と号比

國末 〇七人 〇城州栗田口一泚 〇末一と号城州末六郎と号相州住 〇大和住一と 〇字銘と号建保比 〇比企末と号文保比国行次男と云 〇と号時代不明 〇山一泚二

字銘と号備前 〇肥後延寿一泚二字銘 〇肥州菊池住一と号 〇波平一と号薩州 〇住と号應永比 〇と号國時男郎と号延文比 〇末の延寿一泚天文比 〇谷山一泚弘長比 〇國助 〇二入 〇一入

〇城州末一泚二字銘 〇駿州島田住一或二二字銘と号物 〇山内一と号相州 〇江州蒲生住二字 〇と号本國和州と号中比 〇多代目義助二男文龜天文の間 〇山内一泚元應比 〇銘と号貞治比 〇

五郎三郎入道一と号備州長 〇肥前一と号 〇河内守藤原一と号生國と号尋ねる勢州龜山の城主関氏一政 〇船派備中少も造る明德比 〇時代不明 〇の騎士一と号関家滅亡の後京師出堀河の國廣一と成刀劍と造

〇又坂陽移住す法名叟眼 〇同代目小林河内守一〇河内守一と号壮年の作八銘小振と号 〇同三代目河内守一 〇と号天和元禄の間法 〇同代目河内守一と号同藤左工門 〇石見大掾藤原一〇石見守藤原一〇と号初代

名淨耀と号業物 〇と号元禄享保の間法名玄英と云 〇河内守の舎弟一と号堀川国廣一〇小林源之 〇承と号坂陽と住後勢州 〇同代目石見守藤原一〇と号同市之丞と号 〇和田戸山住来一〇と号東武

神戸へ移住と号寛文比業物 〇東武又豊後杵筑少も造る貞享比 〇高田外山は住と号元禄と号比 〇和州住一〇奥州仙臺住一〇と号二代目國包一〇後同州 〇と号時代不明 〇二本松移住と号寛文比助又佐の字と号 〇國資 〇三入 〇城州栗田 〇一泚二字

國資 〇三入 〇城州栗田 〇一泚二字

銘よお時 ○備中住一と ○肥後延壽一派二字
代不明 ○お時代不明 ○銘よお應安比
源一とお常州 源一とお或六左の
水戸住享保比 字斗も切藝州廣

嶋刀匠桑原六兵衛と号則房門一と慶安中師の養子と成後離 同二代目源一とお桑原彦
縁一方治中坂原弥右門の門と成相州傳と專造る延宝比迄の作有業物 四郎と号享保乙亥の年国

佐と改む宝曆壬申の年没と 同二代目源一とお桑原金吾と号寛延己巳の
初免慶宗とお一乳未詳 年上京して三代目久道門と成寛政比迄存在と
國純 ○二人 城州栗田
口一派二字

銘よお吉光門丹波 國住 ○二人
石見少と造嘉比 奥州住一と
お時代不明 豫州松山臣藤原一とお高橋長七と号東武
ま住と國吉門と云天明文化比鎗と多く造る

國分 ○二人 和州廣瀨郡國分寺の門前住一と二
銘よお嘉嘉祿の比兼枝又瀧と斗お同人と云
國拜 ○二人 末一とお城州
時代不明
國蕃 ○二人

与州住一とお文 國十 ○二人 五十山一とお在
安比字體不明 所時代不明 國 ○二人 肥前住一と
お時代不明

邦祝 ○二人 菊池住人一とお肥
後国日出門文化比 軍勝 ○二人 軍勝作とお奥州
月山一派永正比

月國 ○二人 尾州住二字銘
よお應安比 月光 ○二人 和州永仁比二字銘よお
安則同と云尾州せも造 月西 ○二人 尾州住二字銘よお應
安の比何れも訓不明

月山 ○
奥羽は門蔓と同銘多一此銘の事と尋ねる月山ハ今羽州の内よある山の名あり高山
と云霧多一此谷間の靈水と汲く爛又た湯は用ゆ故は月山と銘とおとてう按ニ
天智比の元祖月山の代ハいさ中心よ自己の名ハおさる比あれえ斯ハ銘ヤ一とて夫より末ハ人
名の如く用い一也遠州雲州丹波長州豊前薩州其外少も同族多く榮也○月山訓誦と銘よる
物りれえ訓誦も月山一派の者と見へる末の作に至るハ月山と姓氏の
如く用ひく月山某と銘よる冶工多一夫、時代等一詳ある

月助 ○二人 羽州山形住一と
お建曆比と云 草家安 ○二人 薩州谷山波平一派法師と云
草安とおも同人延文の比
月入 ○
奥州二字銘よお時
代不明二人有と云

ヤ 安康泰保補

安家 ○六人 備州長船一とお
元安門應永比 備中片山一派二字
○瀨尾刑部尉一とお
○備中片山一派正和比
○字銘よお應永
比 豫州住一とお松山住一と高溪南
波平一とお薩州 武州住一とお
高津南とお珠慶と号土州と造明德比 谷山一派文龜比 安定門寛文比
安張 八人 波平

とお薩州谷山一派橋口石見守入道壽庵と号大守 安利 ○三人 城州栗田一派
義弘俱と高麗渡り造成の物有天正慶長の間 銘よお正中の比 一とお時代

男橋口勘助 **安世** ○二人 波平一とち薩州 谷山一派時代不明 **安代** △二人 主馬首藤原朝臣一〇主馬首一平一とち薩州喜入住玉置小市郎と号谷山波平一派安

負勇男や一と安行の門也享保辛丑の年東武来り依 台命刀剣と造る其功より一と葵一葉と賜か 是より錮元は葵の葉と同年帰國の時於京都受領美元の番鍛冶の旧例より一と 勅使好小路殿と

以て從五位下主馬首一任と同年甲 二歳大業主水正正清の受領も同事と **安但** ○二人 下野足利住一と天文の比 **安忠** ○二人 備前國一とち長船 近忠流と云建治比

安高 ○二人 備前二字銘 備州長船一と貞治比 **安王** ○二人 波平一とち薩州谷山 一派王の字もち天正比 **安綱** ○四人

遠州住二字銘とち應永 備州長船一とち繩 波平一とち薩州 比本建久比と記と 綱とち羽州と造建長比 の字も切應永の比 谷山一派時代不明

越前國一とち繩の字 **安次** ○四人 江州住一と 備州長船住一 備中青江一派二 波平一 ち切東武移住と慶長比 ち永亨比 一とち文和比 字銘とち建曆比 一とち薩

州谷山一派本國 大和守一とち本國越前後東武住も飛田 藤原一とち奥州仙臺住大友藤八郎と号 備中延文比業物 安延後の銘と云初免安継とち寛文比業物 東武来り安定門後河内守國次養子と成

万治寛 隼人佐源一とち長州府中住藤島隼人と号 波平一とち薩州谷山一派 **安繼** ○二人 文の比 天和辛酉の年東武下り同癸亥の年帰國と 深川本左三門と号慶長比

波平一とち薩州 大和守一とち寛文甲寅 **安恒** ○二人 備中正恒流二字 備中國一とち片 谷山一派明德比 一の年号有安次と初銘なり 銘とち貞永比 山一派應永の比

安經 ○二人 波平一とち薩州 谷山一派時代不明 **安常** △二人 波平一とち薩州 谷山一派嘉慶比 **安生** ○二人 波平一とち薩州 谷山一派應永比 **安成** ○二人

備州長船一 豊後紀一派二字 波平一とち薩州 谷山一派嘉慶比 **安生** ○二人 波平一とち薩州 谷山一派應永比 **安永** ○二人

城州二字銘と 備州長船一とち 武州横山住人一と或二 **安長** ○二人 豫州住一と天文 比一本永亨比と記と

安村 ○二人 大和國一とち千手院一派平 波平一とち薩州 九郎と号康の字も切寛元比 谷山一派時代不明 **安宗** ○二人 伯耆國住人一と時代不明

波平一とち薩州谷 奥州波岡住一とち **安氏** △二人 勤之丞と号享和辛酉の冬五十九歳の時 山派永祿比業物 安定門寛文の比

波平一とち薩州 尾州二字銘とち本國和州 伯州大原一派二字 備前福岡二字一派二 備 子改 **安則** △二人 月光同人と云永仁比 銘とち天福比 字銘多一正治の比 前

國一とち長船一派 豊後紀一派二字銘とち瓜 波平一とち薩州谷山一派と 奥州江刺郡水沢 建長比二字銘と有 實と唱安順とも切正治比 左衛門と号文和應安の向 住一とち平吉

國一とち長船一派 豊後紀一派二字銘とち瓜 波平一とち薩州谷山一派と 奥州江刺郡水沢 建長比二字銘と有 實と唱安順とも切正治比 左衛門と号文和應安の向 住一とち平吉

と号代日安倫門仙
基りて造享保比
安順 ○二入
城州二字銘
豊後安
則同人
安儀 △二入
武州住一と号天和守安
定門延宝天和の比

安信 ○二入
越後山村一派二字銘よち後正
信よ改又信国改む應安比
備州長船一と号
亨比外又二人有と云

了戒一作と号
波平一作と号薩州
城州住橘一と号本國紀州石堂
奥州水沢住一と号五代目安
豊後文安比
古谷山一派元曆比云
一派康信とも号と云寛文比
倫門喜助と号享保比

羽州新庄住一と号長久男高橋
市郎兵衛と号安永享和の間
安延 ○二入
波平一と号薩州谷山一派
了戒信光門と成應永比
飛田宗太夫と号父子

兩作多一乃治庚子の年
十七歳と云後安次と改む
安後 ○二入
波平一と号薩州谷山一派
俊の字の誤れ永禄と云比
長州住一と号左
安吉門應安比

二代目顯国
波平一と号薩州
武藏太郎一と号銘真十五枚甲伏作と云銘多一武州八王子
後の銘と云
谷山一派時代不明
住下原一派大村加トの門享保己酉の年蒙
台命刀劔と

造と法名ト省と云相州
同二代目武藏太郎一と号幸藏と号初免安英又康国
紀州住一と号
康國末孫也とも云々
とも号と云元文比父子とも東武麻布ゆとも造る
石堂一派貞享

比
波平大和守平一と号薩州谷山一派安行三男橋
口四郎兵衛後三郎兵衛と号元禄享保の間業物
安正 △二入
波平一と号薩州谷山一派安
行二男橋口兵右門と号初免

安吉と号元
禄比業物
安當 △二入
波平一と号薩州谷山一
派享保比後安廣と号

備前福岡一文字一派
二字銘よち兼久比
安英 △二入
武州住一と号幸藏安
国初免の銘なり

山住室屋園の末丹後田邊
住と三州ゆとも造寛永比
安秋 ○二入
波平一と号薩州
谷山一派時代不明

と号薩州谷山一派安元男橋
伊兵衛後三平覚と改安永天明比
安在 △二入
波平一と号薩州谷山一派
安國二男山助と号宝曆比
薩州住一平藤原一と号

清方二男義清
後の銘よ安永比
安貞 ○三入
雲州住一或二文字銘よち
仁田郡忠貞一派永正比
備前福岡一文字一派二字銘
筑州
よち康貞同人と云弘安比
住一

一と号左の安吉
武州住一と号武州八王子住井出淺右エ門と号武藏
男延文比業物
太郎の門麻布ゆと住と享保比松齋一と号
薩州給黎郡住中村二平藤原一
○二平山城守藤原一と号初免

波平安行門後伊豆守正房
薩州住一と号元平門
崎金次郎と号文化比
安定 ○三入
備中住一と号時
代不明末の物

豫州住一と号
波平一と号薩州谷山
飛田大和守一と号本國越前やと東武
ち天文の比
一派永正の比又天正とも
住と宗兵衛と号仙臺ゆとも造る寛永寛文の間良業

備前福岡一文字一派
二字銘よち兼久比
安輝 △二入
大道藤原一と号三河守大道
藤原一と号本國濃州峯

山住室屋園の末丹後田邊
住と三州ゆとも造寛永比
安明 ○二入
波平一と号薩州
谷山一派永和比業物

と号薩州谷山一派安元男橋
伊兵衛後三平覚と改安永天明比
安宗 ○二入
波平一と号薩州谷山一派
安國二男山助と号宝曆比
薩州住一平藤原一と号

清方二男義清
後の銘よ安永比
安房 ○二入
波平一と号薩州
谷山一派永和比業物

一と号左の安吉
武州住一と号武州八王子住井出淺右エ門と号武藏
男延文比業物
太郎の門麻布ゆと住と享保比松齋一と号
薩州給黎郡住中村二平藤原一
○二平山城守藤原一と号初免

安貞

○一八 波平一とち薩州
谷山一派時代不明

安積

○二八 波平一とち薩州
谷山一派時代不明

安清

○二八 大和国一とち平手
院一派と云延文比

○備州長船一と武州住源一
ち長祿比と云とち元文比

安行

○六八 江州住一と
ち應永比

○備中建曆比二字銘
筑前左二
はち喜太郎と号後藝州
小春稔住一安吉改曆應比
銘はち天文比と云
薩州住人波平一と波平一
同二代目波平一
とち正中元比

大和守波平一と大和守平一とち薩州谷山一派安
張男橋三郎兵工と号伊豆守正房の寛文比業物

波平一とち薩州
波平一とち薩州
波平一とち薩州
波平一とち薩州

波平一とち薩州
波平一とち薩州
波平一とち薩州
波平一とち薩州

安光

○七八 奥州住二字銘はち羽
州一と造る貞治比

安重

○二八 濃州赤坂関一派二
字銘はち文保比

安充

○二八 薩州一
とち谷山

和 ○戒一とち豊
比 ○後嘉吉比業物
とち延慶元弘比の年号ち物多

波平一とち薩州
波平一とち薩州
波平一とち薩州
波平一とち薩州

波平一とち薩州
波平一とち薩州
波平一とち薩州
波平一とち薩州

○元平門池田甚
太郎と号文化比

安滿

○二八 波平一とち薩州
谷山一派應安比

安重

○二八 濃州赤坂関一派二
字銘はち文保比

安充

○二八 薩州一
とち谷山

波平一派 波平一とち薩州谷山一派安周
建久比 男橋三郎左門と号享保元文比

安重

○二八 濃州赤坂関一派二
字銘はち文保比

波平一とち薩州
波平一とち薩州
波平一とち薩州
波平一とち薩州

奥州遠田郡中曾祢住一とち 紀州住一とち藤
四代目安倫の喜左門と号元祿比 原とち切寛文比

安弘

○六八 越州住一とち越前千
代准一派永正比業物

安秀

○二八 備州長
船

一とち 備中片山一派二字
嘉吉比 銘はち建保比

安廣

○二八 平安城一とち
天正比と云

安久

○四八 越中宇津一派二字
銘はち應安の比

○備中守當一桶一とち石 肥前国一
堂一派初代康廣同人と云とち寛文比

安久

○四八 越中宇津一派二字
銘はち應安の比

安元

○三八 江州
住一

備州長船一とち太郎左門
と号康秀ともち永和比

安秀

○二八 備州長
船

安元

○三八 江州
住一

○肥前住橋本源太兵衛と号少貳家
應安比 一はち本國城州嘉祿中筑紫(稔)

安元

○三八 江州
住一

安守

○二八 備州長
船

とち文 備州長船一とち
安比 後の康光門嘉吉比

安守

○二八 備州長
船

安盛

○二八 平一と造とち豊後
高田一派文明の比

○伯州大坂住一 備州長船一と清二
とち至徳比 郎一とち永亨比

安盛

○二八 平一と造とち豊後
高田一派文明の比

安守

○二八 備州長
船

古今録 卷三

薩州住一と号元平門
山本伊助と号文化比
安認 ○一人 備州長船一
と号永亨比

波平一と号薩州谷山一派勘之
丞三男橋口助右衛門と号文化比
安窈 ○一人 波平一と号薩州
谷山一派永禄比
安隅 ○一人 波平一と号薩州谷
山一派長禄比と云
安梨 ○一人 波平一と号薩州
谷山一派亨禄比と云

安 ○一人 備中青江貞次同人
と云何代目不詳

康家 ○三人 備州長船一と号康
光門應永比業物
康利 ○一人 備中二字銘と号俊
の字ふも切文永比
康俊 △一人 紀伊國一と号
石堂一派天和比
康富 △一人 紀州住一
と号石

堂一派貞
享の比
康吉 △一人 攝州住一
と号寛文比
康高 ○一人 備州長船一と号明德
比或ハ寛正の比と云
康忠 △一人 攝州住一と号
石堂一派延宝比

康恒 ○二人 備中片山一派二字銘
と号本國備前貞永比
康連 ○一人 備中国一と号片山一派
時代不明應永比と号

康次 ○三人 △一人 濃州赤坂千手院一派
二字銘と号應永比
康繼 ○二人 和州千手院一派二字銘
と号綱と号至徳比
之とも号江州志賀郡西坂本の住下坂市之丞と号和州住

比
元禄
康繼 ○二人 和州千手院一派二字銘
と号綱と号至徳比
之とも号江州志賀郡西坂本の住下坂市之丞と号和州住

廣長の男ヤと文禄年中受領してより肥後大塚藤原下坂と号物多ノ慶長の首年越前福井へ
移住一裏銘と号と越前國と切同癸卯の年於駿府葵の 御紋と拜領す東武少と造る初代ハ
御紋と猥ら彫らざるとと九ノ慶長甲寅比追作
本邦南蠻鉄と以て刀劍と造る康繼と始と良業 前一以南蠻鉄作之と号下坂市之丞と号法
躰して八道康悦 同三代目○康繼以南蠻鉄於武州作之○越前一以南蠻鉄作之と号同市之丞
と号寛永比良業 同三代目迄越前福井に居住一隔年は東武出府一公用と奉
故は於武州江戸作之と銘と号在邑の作は於越前作之と号と四代目より東武定居するより
と於何州作ると云銘ありとと一又三代迄越前の紀内と同伴一往來さる故は葵の

御紋の紀内は雕しむの美
四代目より自彫也と云業物 同市之丞と号東武定居と貞享比 享保甲寅の秋五十二歳なりて没
同六代目同銘と号初免逸八元繼と号 同七代目同銘と号同市之丞と号延享 同八代目同銘と
享保甲寅の冬市之丞康繼と改む 丙寅の秋相續一明和戊子の春没と 初免逸八元

継と号明和戊子の冬、
市之丞康繼と改
康綱 ○一人 江州西坂本住二字銘と号下坂
八郎左エ門と号正文禄比
一と号後坂陽と住す延宝

江州西坂本住二字銘と号下坂
八郎左エ門と号正文禄比
一と号後坂陽と住す延宝

古今録 卷三

と切枝菊も 同三代目備中守橘一と抄 駿河国一と抄 肥前国佐賀住源藏藤原一と抄初代行廣同人と云

切貞亨比 菊父の如く正徳元文の間 所時代不明 原一と抄初代行廣同人と云

備州長船一と抄 備州長船一派康久作 備前国一と抄正安 比康の字も抄長船派

○抄應永の比 備州長船一派康久作 同三代目阿州住 備中青江一派二字銘 抄次郎父と号寛元比

○同二代目阿州住 抄次郎父と号寛元比 阿州住一と抄 海府一派康正比

○阿州住一と抄 阿州住一と抄 海府一派太永比 泰宗 △人 泰宗作と抄在所時 代不明相州あゝ慶

○阿州住一と抄 紀州住一と抄 若州小濱本郷住 一と抄大永の比 泰行 △人 豊後高田一派二 字銘よ抄天正

○阿州海部住一 泰幸 △人 相模守藤原一と抄本國 同二代目能 濃州あゝ尾州名古屋屋住と延室貞亨の間 登守藤原

○武州下原一派二字銘多し 備後国三原住一 肥前国一 一と抄文明比 熊の字も切物多し

○藤島一と抄 加州天正比 和州住一と抄 加州金府住一と抄松 戸七郎と号を寛政比

○若州本郷住一 一と抄天文比 泰平 △人 和州住一と抄 所時代不明 加州金府住一と抄松

○武藏国住一 造と抄樋口 保房 △人 文珠一と抄左字 切和州寛文比

○備州長船一 文珠源一と抄 和州寛文の比 備前国左兵衛尉 一と抄二文字

○武州住一と抄金左門二 保弘 △人 備前国左兵衛尉 一と抄二文字

○男樋口金次郎と号文化比 保安 △人 備州長船一派二 字銘よ抄時代不明

○武州住一と抄金左門二 保光 △人 備州長船一派二 字銘よ抄時代不明

○勢州住一と抄桑 藤原一と抄播州印南郡山中新村住黒田助六 備中正 名千五一派永正比 一と号と備後三原正近末流と云天正元龜の比 恒流二

正

正家 ○七八 △五人 勢州住一と抄桑 藤原一と抄播州印南郡山中新村住黒田助六 備中正 名千五一派永正比 一と号と備後三原正近末流と云天正元龜の比 恒流二

補

補吉 ○一人 二字銘よ抄在 所時代不明

保

保則 ○一人 二字銘よ抄在 武藏国住一 造と抄樋口 所時代不明 金左門と号明和天明の間

保光 ○一人 備州長船一 文珠源一と抄 和州寛文の比 備前国左兵衛尉 一と抄二文字

保安 ○一人 備州長船一派二 字銘よ抄時代不明

て 正政昌當將匡改剛増禋丸舞希又万松

字銘よち ○備後住一とち三原中興の祖也 ○同代目備州住一とち作或ハ二字銘よち ○同代目備州
寛元比 ○右工門尉と号徳治比大業 ○左兵五尉と号初免正廣とち建武比 ○住一とち貞

治永和 ○同代目備州住一とち左兵五 播州姫路住大和太掾藤原一とち天正の同代目藤
比良業 ○尉と号應永比最上大業物 正家男黒田助と号後守と博と元和比 原一とち

同仁左工門と ○同三代目藤原一とち同 同代目藤原一とち 野州喜連川住一とち金子
号寛文比 源右工門と号元禄比 同源左門と号享保比 平太と号水心子秀門享和比 正春
△二人

播州姫路住一と藤原一とち三代 正俊 ○六人
目正家門黒田太郎右工門と号享保比 駿州住一とち小田原の 濃
州

住一と或ハ二字銘よち坂 月山一とち 備後住貝一或ハ二 備州三原住一 越中守藤原一
倉一派天文比業物 ○奥州時代不明 ○字銘よち應永比 ○一とち文禄比 越中守藤原一
川住本国濃州兼道四男父と共 同代目越中守一とち細元よ十六茶茶の 同三代目越中守一とち

よ上京と寛永比迄存生之業物 菊と切寛永中受領寛文迄の作有業物 父のつく菊と切藤三郎
と号天和 同四代目越中守一とち父のつく菊と切 平安城石堂一と石道一と 武州住一とち
元禄の間 藤三郎と号伊賀守金道と同居比正徳比 ち右近と号本国紀州寛文比 相州流慶長比

正利 ○四人
△四人 ○勢州仙五二派二字 濃州坂倉一派二字 同代目二字銘よち 石州住一とち雲
銘よち亨禄比 銘よち永正比良業 亨禄天文比良業 州和州とち造る

應永 武州下原住一 濃州因住一とち 羽州米次住一とち元利男古 備州住九兵衛尉一とち
比 ち時代不明 坂倉の未寛永比 山文吉と号水心子正秀門享和比 備前岡山刀匠万治寛文
比業 奥州月山二派二字 肥州住一とち肥後延寿一派 羽州米次住一とち吉次氏
物 正壽 ○二人
△一人 銘よち貞應比 国宗男外記と号文明比業物 也水心子正秀門天明文化

山城国粟田源 撰津守源一と道とち奥州中村と住と 備前因住一とち 豊後
住藤原一 正全 △一人
△一人 豊後守源一とち本国濃州坂倉一派とち 尾州
とち元禄比 各古屋と住と洛陽とち造る寛文元禄の向手利也 正儔
△二人 武州住源

正友 △一人
山城国粟田源 撰津守源一と道とち奥州中村と住と 備前因住一とち 豊後
住藤原一 正全 △一人
△一人 豊後守源一とち本国濃州坂倉一派とち 尾州
とち元禄比 各古屋と住と洛陽とち造る寛文元禄の向手利也 正儔
△二人 武州住源

正辰 △二人
勢州住千子一 武州住一とち
とち時代不明 下原一派時代不明 正富
△二人 武州法城寺一派二字
銘よち物多一寛文比

正近 ○三人
△二人 備州住一とち備後木梨 備後国三原住一とち 備後国三原住一
三原一派貞治應安比良業 貝一派文明の比業物 ち黒田助と正家父亨

祿天文 上總國住高梨物頼源一とち 薩州住一とち主人正の男宮原清右工門 正興 ○二人
△二人 東武と住と水心子門享和文化 ち号享保元文の間此代限とて鍛工と止

貝藤原一とち物多一備後坂田 備後国三原住貝一とち 同代目備後国三原住貝一
住木梨三原一派文明長亨比業物 天文永禄の同業物 一とち元龜天正の比 越

正興 ○二人
△二人 備後国三原住貝一とち 同代目備後国三原住貝一
住木梨三原一派文明長亨比業物 天文永禄の同業物 一とち元龜天正の比 越

正興 ○二人
△二人 備後国三原住貝一とち 同代目備後国三原住貝一
住木梨三原一派文明長亨比業物 天文永禄の同業物 一とち元龜天正の比 越

正興 ○二人
△二人 備後国三原住貝一とち 同代目備後国三原住貝一
住木梨三原一派文明長亨比業物 天文永禄の同業物 一とち元龜天正の比 越

正興 ○二人
△二人 備後国三原住貝一とち 同代目備後国三原住貝一
住木梨三原一派文明長亨比業物 天文永禄の同業物 一とち元龜天正の比 越

正興 ○二人
△二人 備後国三原住貝一とち 同代目備後国三原住貝一
住木梨三原一派文明長亨比業物 天文永禄の同業物 一とち元龜天正の比 越

新谷田住小林源一作と号正綱
男小林俊平と号享和文化比
○備後国三原住員
○備後国三原尾道一
○備前国吉井一
○備後国三原住員一
○備後国三原住員一
○備中一正恒
○流二字銘

和州南都住藤原一と号
金房左門大夫と号太永比
○備前国吉井一
○備後国三原住員一
○備後国三原住員一
○備中一正恒
○流二字銘

○曲豊後佐伯住二筑州住信国一と号葵一葉鉦元
○切東武やも造る享保の比
○備後国三原住員一
○備後国三原住員一
○備中一正恒
○流二字銘

○濃州坂倉園一派二
○備後国三原住員一
○日向住一と号隆
○大隅守藤原一と号坂
○和泉守源
○陽やも造る寛文比
○備後国三原住員一
○備中一正恒
○流二字銘

武石堂一派
肥後大塚藤原一と号播州姫路住後
時代不明
越前移住と下坂一派慶長寛文の間
○備後国三原住員一
○日向住一と号隆
○大隅守藤原一と号坂
○和泉守源
○陽やも造る寛文比
○備後国三原住員一
○備中一正恒
○流二字銘

野州住一と号下野鹿沼住正義
男細川政藏と号水心子文化比
○和州手搔一派二字
○濃州赤坂園一派二字銘と号坂倉
○モロス子と号康正の比良業
○備後国三原住員一
○備中一正恒
○流二字銘

○同代目二字銘と
○石州住一と号
○備後国三原一派二
○和州郡山住一と号
○陸奥国一と号
○備後国三原住員一
○備中一正恒
○流二字銘

備州岡山住一於廿日堀邊作と号
正成四代の孫東庄右門と号安永比
○備後国三原住員一
○日向住一と号隆
○大隅守藤原一と号坂
○和泉守源
○陽やも造る寛文比
○備後国三原住員一
○備中一正恒
○流二字銘

正義 〇一人
備後三原住一
野州鹿沼住一と号細川
良助と号水心子享和比
○備後三原住一
○備中一正恒
○流二字銘

奥州津輕住紀一と号水心子
備後国員五阿弥
高橋吉次郎と号享和の比
一と号元和比
○石州住一と号
長濱物文安比
○備後三原住一
○備中一正恒
○流二字銘

治
正善 〇一人
濃州坂倉園一派二
字銘と号天文の比
正祥 〇一人
薩州住一と号日
向かも造永禄比
正良 〇一人
東武深野一
と号享和の比

薩州住一と号出水住上原十
同代目薩州藤原
左二門と号惣左二門正房享保比
一と号延享比
明和中心より造成と寛政辛亥の年受領して伯
老守平朝臣
薩州住一と号平覺男也
正幸と改銘す
父改名の後正良と改文化比
安徳寺三笠朝臣一
真十五枚甲伏
伯

守平朝臣一と号初免正良と
号享和壬戌の年七十歳
正美 〇一人
上野国高崎住一と号水心
子門堤長五郎と号文化比
正榮 〇一人
尾崎一造と
号助隆養子源

左二門と号坂陽
住と文化の比
正胤 〇一人
二字銘と号在
所時代不明
正忠 〇一人
武州住石道橋一
一と号貞享比
正武 〇一人
於東武結
城一作之

と号本国羽州山形と喜代松と
号水心子門寛政中壯年ゆで没
正恒 〇一人
新屋住一と号和州
備前二字銘
○備前島田
○備中一正恒
○流二字銘

手搔一派貞和比
○備前二字銘
○備中一正恒
○流二字銘

備前長船一派二字銘
備中二字銘
同二代目二字銘
備後紀一派二字銘
豐後紀一派二字銘
備前長船一派二字銘
備中二字銘
同二代目二字銘
備後紀一派二字銘
豐後紀一派二字銘

正經 〇二八
備後國三原住
一と歩天文比
正次 〇二六
城州栗田口一派二字銘
城州
一と歩國延門弘安の比

相州住一
同二代目相州住
濃州坂倉関一派二字銘
丹波綾部住三字
後正利改亨祿の比業物
銘は歩藤九郎と

備前新田庄住左近將監一
備前長船住一
備中青江一派二字
一と歩貞治比
銘は歩寛元比

日州住一
薩州川内平佐住一
和泉守橘一
備後國三原住員
一と歩文龜比
一と歩明應比
一と歩月山一派文龜比
夫と号長州二王方清甥也越後高田野

武州住法城寺肥後
武州住野渥丹波守
東多門兵工尉藤原一
一と歩
一と歩宗次初名の銘也
衛門と号正廣門寛文天智間
田貫上野少正國九代名

肥前國住伊豫掾源一
肥前國住一
長崎住与右
同田貫一
一と歩肥後同
享保比
孫菊川仙左工門と号文化乙丑の年
薩州住一
初代正房二男丸
薩州住一
歩元平門

東武末水心子門と成又歸邑ハ
田平左工門と号を寛文比業物
弓削太郎と号文化比

正繼 〇二八
江戸渋谷住源一
一と歩東武住渡
一と歩宗次初名の銘也
衛門と号正廣門寛文天智間
田貫上野少正國九代名

正綱 〇二六
石州住一
歩長濱
二王一と歩
防州吉敷住
政の字也
栗田日藤原一
一と歩撰州初代忠綱二
越後新發田住源一
一と歩小林
伯耆國倉吉住弓削
吉正後の銘亨和文化比
新三郎藤原一

播磨大塚藤原一
一と歩
薩州住一
歩鹿兒府住人岩元勘右工門と号伊豆守正房
初免正廣と切元和方治の間
正繩 〇二八
門後上京一
一と歩丹波守吉道一
一と歩成受領丹波守行道と改寛文比

和州當一派二字
和州住一
歩手搔一派
泉州住一
歩城州
備後國三
銘は正中の比
長太郎と号明應比
了戒の流文明の比
原住一

奥州會津住三好一
平安城一
一と歩生國豫州松山一
長國子三好利右工門と云壯年の比上京
比業比
埋忠明壽一
一と歩成寛永丁卯の年父長國と共會津移住一
以後子孫此地を榮向矣未の年

藤原政長改む正保
羽州秋田住法城寺一
一と歩正照末
伯州住一
一と歩肥前佐賀住藤原一
一と歩
梅山又八郎と号水心子門寛政比
一と歩寛文比
一と歩正永と八別入寛文比彫物

越前國敦賀住一
一と歩
石州住一
一と歩
備後國三原住員
武州住藤原一
一と歩
紐元文字と切應永比
長濱物文安比
一と歩弘治比
一と歩慶安比

越州新發田住一
一と歩和州手搔の末
肥前國一
一と歩左傳次郎と
同二代目肥前國武藏大塚藤原一
一と歩
吉正男小林源四郎と号享保の比
一と歩
号寛永乙丑の年正廣改む
肥前國住武藏守藤原一
一と歩初代

正廣男弥七郎と号方治庚子十月受領寛文辛同三代目肥前国住備中大掾藤原一と号二代目正廣男傳兵
丑九月守博一同じ己四月河内守正廣改む 一と号初を廣永と号寛文己巳の年父と共に受領丹生正廣と
公不切宝永甲申十一 肥前国佐賀住一と号四代目正廣男佐傳 薩州平佐住一と号惣左門正
月茂六十歳と業物 次郎と号寛延庚午の年正廣改む 房元野弥大右門号享保比

備後国三原住 備後三原住一作 石見守藤原一と号 阿州住一と号岩倉住正守男右
一と号永正比 備前岡山住寛永比 川分弥と号水心子門寛政文化

正宗 〇八八
城州綾小路住二字銘は入道して達磨と号生国和州 和州南都住藤原一
と云初免重光又国重と切と云岡崎氏より文和比業物 一と号金房一派天正比

相州住一或二字銘多相模国鎌倉住一五郎入道と号同所行光の男也新藤五国光と号
云宇内と周行一其蕴奥と究を 本邦鍛冶中興の祖神と仰る十の妙所十三種の

沸り正應 相州山内住一と号永 武州恩方村下原住 備後具三原一派二字 同二代
建武の間 正比山内正宗と唱 二字銘は永大永比 銘は延文の比 目二字

銘は初免正 同二代目二字銘 陸奥守藤原一と号武州下 正村 〇八八
貞と号永徳比 一と号文明の比 原一派土佐守と号慶長比 城州住一と
加州住竹下儀兵衛一と号 長州萩住石道藤原一と号 備後五阿弥大和
正守族や六兵と号享保比 守一と号寛永

正氏 〇八八
金府住寛文の比業物 正守族や六兵と号享保比 守一と号寛永

比 〇六八
和州千手院一派 江州高木住一 左門督一或二字銘は雲州
字銘は時代不明 一と号永亨比 道永一派本國備前吉井嘉吉比 一と号

石州正利同 備後国住貝一〇三原一と 二字銘は在所時代 攝州住一と 大和太掾藤原
人應永比 一と号木梨一派弘治比業物 不明播州政則同く 一と号時代不明 一と号越前

福井住三三條吉則末裔や丹後宮津の産と云 同二代目大和太掾藤原一と号東 越前太掾藤
洛陽や造る山田氏慶長寛永の同良業 武や造る寛文元禄の同業物 原一と号

越前福井住を二代 法城寺橋一と号本國但州弘 因州鳥取住一 備前国住一と号 肥前
目大和太掾同と云 原一と号東武住寛文比 一と号時代不明 吉井の末寛永比 佐賀

住一〇平戸住一と号兩 播磨大掾藤原一と号 薩州住一と号正房門 正法 〇八八
所少く造る土肥氏寛永比 肥前佐賀廣久門正徳比 朝倉甚五兵と号享保比 大和
藤原一と号越前 大隅大掾一と号 越中国一と号 越後下

寛文比正則同人 正禮 〇八八
東武住寛永の比 正信 〇八八
越中国一と号 越後下

氏某と云〇正信作と三字銘は城州信國と呼下 同二代目二字銘は初免安國と号 備州
刀剣の造法と号後信國改むと云延文應安の間 老成信國改むと云永和の比 一と号

作と号備後木梨三原一派嘉 山城國一と号兼應比 武州住一と 平井土佐掾藤原一と号甲州
慶明徳の作多一菱垣鉦也 宗十郎政信同人 一と号時代不明 府中住安積岩右門一と号亨

保甲辰の年和州郡山へ
移住し後守を傳ふ

正宣 △二人 防州徳山住一と正之孫月山代八と号水心子門享和比

正國 ○七人 △四人 大和国住一○南京藤原一と号手撥一派波平の祖と、別人嘉元比 ○丹波綾部住二字銘を号 ○備前国一と号 ○国宗流徳治比

備州一と号備後木梨三原一派貞治比 ○石州住一と号 ○典太一と号筑後 ○小山左馬一と号肥後菊池住同田貫一 ○武州下原住藤原一 ○武州住法城寺橘 ○防州住源一 ○肥後州木下住一と号慶長の天正比業物 ○と号山本氏時代不明 ○と号時代不明 ○と号時代不明 年号と号左馬人同くしらす

正安 ○二人 △一人 金房藤原一と号 ○和州南都住亨禄比 ○日州住波平一と号 ○薩州住藤原一と号津川文

隅州住一と号薩州正幸門天明比 **正房** ○二人 △七人 備後国住貝一と号 ○信平と号と云永正比 本の藩士志水隼太と号水心子門文化比 守藤原一と号薩州住備後守氏房二男始免 同男薩州藤原一と号九田孝兵衛 薩州住藤原一と号依右氏房と号九田兵右衛門と号慶長寛永の商業物 と号受領が万治の比業物 工門氏房男九田惣左衛門と号初免正冬又正商とし 同二代目薩州住藤原一と号 薩州住藤原一と号正峰男 同二代目薩州住藤原一と号同惣兵

正保 △二人 薩州住藤原一と号

正英 ○二人 △二人 和州二字銘を 羽州秋田住一と号正長男 歩應永比 梅山八八と号水心子門文化比

正照 △二人 越前守橘一と号東武法城寺一派ゆゑ後羽 同二代目越前守橘一と号秋田よ 州秋田へ移住し正弘の云天銘と天和貞享比業物 住ま上京受領の時伊賀守金道門

正輝 △二人 法城寺橘一と号東 武住と元禄の比

正明 ○一人 △一人 同田貫一と号肥 後天正比業物 松倉住同田貫一派天正比と云

正貞 ○二人 △三人 成鉦元と菊と切元 禄享保の間小銘也 備後木梨三原一派二字銘 備後正宗と切貞治比 一と号天正比 保寛文の間正貞子と云 一と号肥前正則同くしと号忠

正真 ○二人 △二人 重男やと奥小左 二門と号元禄の比 金房隼人佐一或二字銘を和 州南都住天文比正実同人と云 一と号平安城長吉此地へ来りて

正實 ○二人 △二人 備後国三原住一 和州南都住藤原一と号 武州住源一と号 南都住金房隼人佐一と号和州

正清 ○九人 △四人 正真同人 播州姫路住一 ○播州住藤原一と号二代 南都住金房一と号 泉州和 承禄比 目正家門黒田源左門と号正真正寛永比 歩和州文亀の比 田住加

正真 ○二人 △二人 藤原一と号三州田原住本国和州南都金房一派 相州住一と号 備前直宗流二字 文亀比 中と号三河文珠と鳴本多家十方切の作人 実晴 天文比 一と号大永比 銘と号嘉元比

正實 ○二人 △二人 備後国三原住一 和州南都住藤原一と号 武州住源一と号 南都住金房隼人佐一と号和州

正清 ○九人 △四人 正真同人 播州姫路住一 ○播州住藤原一と号二代 南都住金房一と号 泉州和 承禄比 目正家門黒田源左門と号正真正寛永比 歩和州文亀の比 田住加

正實 ○二人 △二人 備後国三原住一 和州南都住藤原一と号 武州住源一と号 南都住金房隼人佐一と号和州

正清 ○九人 △四人 正真同人 播州姫路住一 ○播州住藤原一と号二代 南都住金房一と号 泉州和 承禄比 目正家門黒田源左門と号正真正寛永比 歩和州文亀の比 田住加

設台備考

賀四郎一派二字銘多一本 ○ 同代目二字銘 相州住一と 加州住藤原一と 備後木梨住貝一
国備後安部郡也應永比 ○ 少文明比 ○ 少明應比 ○ 少天文比業物 ○ 一と少貝三原の祖

と云貞 ○ 同二代目備州住貝 ○ 同三代目備後国住 二王一と少防州 和泉守源一と 和泉加
和比 ○ 一と少應安比 ○ 貝一と少永亨比 ○ 吉敷住應永比 少撰州寛文の比 賀四郎

一と少 長州住一と少三王方清門 主水正藤原一 ○ 主水正一と少薩州喜入住宮原清右衛門
寛永比 玉井平右衛門と号享保比 後、覺大夫と号惣左衛門正房、享保辛丑の年安代と共に東

武(下)依 台命刀剣と造成を以下恩賞つゝ、事ハ安代の傳は、いゝれを畧すと于時、廿二歳
と云○此作ち銘三品、(り)息正近の代銘ハ大振弓削正盛の代銘ハ小振自身銘ハ鑽拙一と知る

る ○ 和州住一と少昌行 ○ 備州三原住一と 豊後高田一派二字 筑州一
大業 正行 ○ 三入 ○ 一と少と云時代不明 ○ 少永禄天正の間 ○ 銘、少應永の比 ○ 少筑前

左一派嘉 波平一と少薩州 甲州住一と少正 源一と少越後新発田住南 豊州高田住
吉比と云 ○ 谷山一派永亨比 信の初銘と云 沢弥右衛門と号と享保比 藤原一と

少貞 正之 △ 二人 防州徳山住一と少月山藤吉 筑州一と少筑前 播广守
享比 武州住一と少越前下坂一派宗道男 於武州相州一造と少八木彦 薩摩国

貞享比 菅谷勝三郎と号初免宗道と少元禄比 八と号路の字、切享和の比 一と少

弓削正盛、
初の銘也 正通 △ 二人 羽州米沢住一と少 水心子門寛政比 正光 ○ 六人 城州栗田口一派二字銘、少吉光門、少吉
号嘉 城州綾小路達磨一派二字銘、少後 同二代目二字銘、少後濃州蜂屋、移住と故、蜂屋
元比 政宗、改入道、少阿弥と云永徳比 達と唱、三州、少造、應永嘉吉、少間

備前国一と少 備後国佐兵卫九一 貝一と少備後 法城院橘一以五鉄作と少物多
直宗流嘉元比 一と少三原派文和比 三原一派永正比 一東武法城寺一派天和、少比

正満 △ 二人 甲州住一と少東郡 正盈 △ 二人 奥州白川臣加藤一と少 正峯 △ 二人 薩州住一と
房男九田儀右、門 薩一と造と少 正重 ○ 六人 勢州千五派二字 同代目勢州住
と号早せと云 武州住一と少下原一派 越後山村一派二 備前国住一と少備州 備州住一と少三 撰州住一

比 山本源と号天正比業物 字銘、少天文比 長船一と少文明比 原一派永和比 一と少延室
比 千子藤原一と少勢 三州伊賀住藤原一 武州住一と少下原一派 同二代目武州下原住一
州素名住寛永の比 一と少時代不明 山本八郎左衛門と号元和比 一と少同八郎左衛門と号、

享保比 加州住藤原一と少 長州住一と少月山 肥前平戸住一と少正則男土肥作左衛門、号
一と少 藤島一派時代不明 重右衛門と号享保比 延室庚申の年坂陽、出井上真改門と成、真了

一と少 延室

一と少 延室

一と少 延室

と改免天和壬戌の年帰邑に
正成 ○一人 △二人
濃州坂倉一派正成作と東多門兵工藤原一と考 妻木一
備前岡山住を寛永比 作之と考

在所時
正繁 △一人
奥州白川臣手柄山一○手柄山甲斐守一と考本國播州姫路一と丹霞氏
繁男手柄山朝七と号初免氏繁と考天明戊申の年東武移住一享和癸亥の

年四月於京都伊賀守金道の取
次受領大龜文又と專門に
正久 ○一人 △三人
備州住一と考 甲州平井住一 越前住一
三原一派康安比 考元禄の比 考下坂派

寛文 肥前平戸住一と考垣見傳之丞と号初免土
比 肥真了門一と考後肥後隈本の昌直に成享和比
正秀 ○二人 △一人
城州一と考大宮一派小二
郎又棕太郎と号と云

時代 二字大銘と考 羽州山形住水心子藤原一○川部儀八郎藤原一○水心子一○正日出
不明 在所時代不知一人 正日天と考必花押と切或ハ極印と考物有東武濱町住と本國羽州

赤湯の産と考 明和比鈴木三郎宅英 真十五枚甲伏と切中比山形移住一英国と改免安永甲午の
年正秀と改免後東武轉住に相州備前の西傳と授り復古刀と造り文化己己の年六十一歳なり

正廣 ○九人 △五人
相州住一と考九郎二郎と号二代目 同二代目正廣作と三字と考物 同三代目相州住
廣光門後廣光と改免と云永和比 多し正の字真也應永比 一と考小銘美

事也康正比 相州住一と考永正文の間恐らくハ五代目位あり
彫物多し 未詳小田原北条氏綱より一字と授りて綱廣と改免 濃州坂倉一派二字銘
は考文明の比業物

諷誦一と考 伯州住一と考 備州住一と考備後三原一派左 備州住一と考作と考備後
奥州時代不明 廣賀一派天正比 兵工尉と号後正家と改正慶比 尾道住と明德應永の

年号と考物多し 金房兵工尉藤原一と考 水心子藤原一と考正秀男 越前國住一と考
二代目一と考 和州南都住寛永比業物 川部熊次郎と号後貞秀と改 下坂一派万治の比

相摸守藤原一と考越前下坂 越後高田住一と考 源一と考越後新発田住吉 伯州倉吉住
一派寛文比上との正廣と別人 兼廣甥と云元禄比 正門一本杉と兵工と号享保比 一と考弓削

正綱初 備前國岡山住一 肥前國一 肥前佐賀住一 肥前國河内大塚藤原一と考吉信
銘と考 考慶長元和比 男佐傳次郎と号元和癸亥の年十七歳の時造成の太刀國主達上

聞賜賞禄寛永乙丑の年十月十九日正廣の二字と賜ふ夫追名乗不 同二代目肥前國河内守藤原一
考同戊辰の年四月廿七日受領寛文己己の年二月五日没を九十九歳業物 一と考初免弥七郎後佐傳次

郎と考初免の銘武藏守正永と切寛文己己の年四月十三日 同四代目肥前國河内大塚藤原一と考友之
河内守正廣と改免元禄己丑の年八月六日没七十三歳 進と号初免武雄と切宝永戊子の年受領享保

癸丑の年五月廿五日没六十歳 同五代目肥前國河内守一と考佐傳次郎と号初免正永と考寛延庚
○三代目ハ始終正永と考 午の年正月十日受領一と考正廣と改明和戊子の年五月廿五日没五十九歳

同六代目肥前國一と考友之進と号幼年少と考父後れ 薩州住一と考深川太郎左門と号伊豆守正
六代目忠吉と考造法と考享和壬戌の年四十五歳 房門後上京して和泉守金道門に成受領河

同六代目忠吉と考造法と考享和壬戌の年四十五歳 房門後上京して和泉守金道門に成受領河

内守行廣と改む 薩州住藤原一と号深川左五門
美應明曆比業物 号元文寛保の同国次と号也

正弘 △四人

三州田原住一 或二字
銘号正真門天文の比

石州長濱住一 作 備後国住員一
と号文明長亨比

正平 △三人

大隅掾藤原一 大隅丞一 とも号或ハ
守ま任まとも云城州一条堀川住国改の男本

国日州古屋と改む 廣の字 近江守法城寺橘一
と号東武住三郎大夫と号方 但馬守法城寺橘一と号
切と云とも未見寛永比 治延宝の間本国但州弘原也常州水戸と号造業物 東武住員貞享元禄比

正盛 △三人

衆名住一と号勢州千 備後国三原住員一
子一派文亀永正の比 豊後国高田住

法城寺一と号土州 高知住ま時代不明

正元 △二人

備後国員一 長州住一と号月山
藤吉と号享保比

比後豊前小倉 移政平と改免銘と

正助 △二人

武州住藤原一と号馬加 備前守と号と云時代不明

と号元亀 東多兵衛一と号備前 岡山住正次男貞享比
三州田原住二字銘 長州萩住石道一 藤原一と号
と号正真門天正比 初免東武住一と号兵工と号享保比
阿州岩倉住一と号石川小平と号東武
末水心子正秀門と成寛政文化比

正齋 △二人

塩田一と号本国江州まで 奥州播州と号造寛水比

備州住一 備州住左京亮 備州三原住一 作
一と号三原派員和比業物 備州三原住一 作
と号文明延徳の間

正祐 △二人

日後国波平一 作と号本国薩 州谷山と云應永永亨から間

比定廣門 同代目相州住 長峯寺一と号 備州三原住一
と云業物 一と号永禄比 常州住と天正比 備州三原住一 作
と号天文比

政家 △二人

相摸國住一 相州住 尾州住藤原一と号政
常口壽公と号享保比

九源一と号在 所時代不明 羽州住一と号 濃州坂倉関 派一
門高田寺と号 南都住金房空尉 和州守住藤原一 南都住金房 相州住一
号以享保比 一と号長亨比業物 右五尉一と号弘治元亀の間業物 号元和比と云

政包 △二人

豊前小倉住藤原 一と号政平

筑前濱田住一 二王一 作と号多々八繩の字 防州吉敷住文明の比

政次 △三人

政種 △一人 紀一と号政平

相摸守藤原一と号濃州納土の産と号納土左助後 太郎助と号奈良太郎の末流と号 初兼
常と号尾州小牧村 移住 福島政則の刀匠と成同国清洲 轉住 一字と授と号政常と改天正

政綱 △一人

政恒 △一人 在所時代不明 政常 △七代

政辰 △一人 濃州坂倉関 派一 陽と号造寛文比

政利 △二人

政勝 △一人 鬼

政包 △二人 羽州住一と号 濃州坂倉関 派一 銘号正真門天文比

政言 △一人

政種 △一人 紀一と号政平

政次 △三人 南都住金房空尉 和州守住藤原一 南都住金房 相州住一
一と号長亨比業物 右五尉一と号弘治元亀の間業物 号元和比と云

政次 △三人

政種 △一人 紀一と号政平

政綱 △一人 二王一 作と号多々八繩の字 防州吉敷住文明の比

政綱 △一人

政恒 △一人 在所時代不明 政常 △七代

相摸守藤原一と号濃州納土の産と号納土左助後 太郎助と号奈良太郎の末流と号 初兼
常と号尾州小牧村 移住 福島政則の刀匠と成同国清洲 轉住 一字と授と号政常と改天正

政恒 △一人

政常 △七代

政

古今録御代考 卷三 五十七号

禮

希

禮重 マヌ 播磨守藤原一 △二人 元禄比在所不明

希遠 ○二人 備中青江一派二字

舞 ○二人 奥州舞草一派三字銘

舞草丸 ○ 奥州舞草一派三字銘

丸作 ○二人 奥州舞草一 △一人 應永比と云

丸

丸房 ○二人

信州住一 ○ 或二字銘 ○ 奥州舞草一派二字銘 ○ 奥州舞草一派二字銘 ○ 房の説區々あるを不載

又八 ○二人 同田貫一 ○ 菊池住天正比業物

又次郎 ○二人

若州小濱住嘉吉比本国与州松山の城主 ○ 橋左馬助國房と号没落後相州下 ○ 二代目秋廣

又

又八 ○二人

同田貫一 ○ 菊池住天正比業物

又次郎 ○二人

若州小濱住嘉吉比本国与州松山の城主 ○ 橋左馬助國房と号没落後相州下 ○ 二代目秋廣

松万

万壽 ○二人

備前福岡一文字一派則包同人と云備 ○ 中 ○ 於 ○ 万壽又ハ豊原と云

松山 ○二人

備中国住一 ○ 石川左門尉 ○ 山末傳と云享禄比松山水田一派 ○ 谷山郡 ○ 薩州波平の

或ハ武夫の 慰也と云

松齋 △一人

松齋作 ○ 松齋安貞作 ○ 下鍛の物ハ達富と云安貞下鍛セ ○ 物ハ松齋と云

古今鍛冶備考卷之三畢

